

56th ASAHIKAWA KITA
HIGH SCHOOL REUNION

止むなき希望に光明を添へむ



第56回 旭川市中・市高
北高同窓会 会誌

【総会・懇親会は中止となりました】

新型コロナウイルス騒動にて、同窓会を開催できない状況が3年間続いています。
同窓生が再び集まることができるよう校歌の一節に願いを込めてテーマとしました。



市中



市高



北高

旭川北高等学校同窓会

<https://www.kitako-dousou.com/>

編集 旭川北高等学校同窓会実行委員会（第45期）
デザイン 第45期 高田あかる（旧姓 志田）
写真 第45期 永井 直子（旧姓 松辻）

応援歌

ねっせるちしおやけんじのき そのなもた一かききたこうの
 えいーよ さんたり わがともーよ
 たたか わん いきーも ひのごとし

応援歌

高橋国二 作詞
 熊崎清志 作曲

一、熱せる血潮や 健児の気
 その名も高き(北市高中)の
 栄誉燦たり 我が友よ

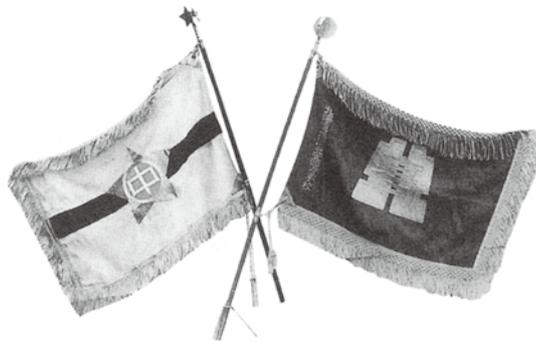
戦わん意気も 火の如し

二、見おや祖国の 中堅と

その名も高き(北市高中)の
 鍛えあげたる 我が選手
 邀える敵も 何のその

三、青空高き

グランドに 優勝の旗うち振りて
 天にも轟く 万才の
 勝関あざむ 我を見よ



2022年 旭川市中・市高

北高同窓会 会誌

content

- ① 同窓会会長あいさつ
- ② 学校長あいさつ
- ③ 令和3年度会務・会計報告
- ④ 同窓会規約
- ⑤ 東京・札幌同窓会から
- ⑥ 80周年記念事業 常設看板
- ⑦ 恩師の近況
- ⑫ 特集「同窓生の活躍」
- ⑲ 同期の今
- ⑳ 今春の進路状況
- ㉘ 北高NOW（部活動報告）
- ㉙ 同窓会役員・幹事名簿
- ㉛ 実行委員長・次期当番期あいさつ
- ㉜ 旭川北高同窓会公式ウェブサイト



北海道旭川北高等学校長

木幡 かおる

ごあいさつ

北海道旭川北高等学校同窓会の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より山本淳一会長様を中心とした皆様より多大なるご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、創立82年を迎えるということ、旭川市内、道内外、遠くは海外でも同窓の皆様が活躍される歴史と伝統、実績のある北海道高等学校教育の中心校という引き継ぎを受け、四月に北海道士別翔雲高等学校より着任いたしました。微力ではございますが、北高生のため、職責を果たしていく所存です。今後

とも同窓会の皆様のお力添えをよろしくお願いいたします。

令和四年度は全日制240名・定時制7名が入学し、10月現在、全日制713名・定時制29名の生徒が在籍しています。3月の卒業生は、全日制では現役での国公立大学合格者が137名、既卒者を含めると149名の合格となっております。定時制では厳しい条件の下、3年間で卒業できる制度を利用した2名を含む14名が、進学・就職等に向けて学び舎を巣立っています。多くの生徒が部活動に加入しており、高体連ではバスケットボール男子、卓球女子団体とダブルスが全道ベスト8に輝き、アーチェリー、陸上、少林寺、個

人参加の水泳がインターハイに参加。定体連では、卓球が女子個人で全国大会に参加。高文連では放送、新聞が全道、美術が全国参加を勝ち取るなど活気に溢れています。つい先日は、北海道高校サッカー選手権大会の全道大会進出を30年ぶりに勝ち取るなど、コロナの感染防止に

努めながらも攻めの姿勢を忘れない戦いに、応援する我々も元気をもらえます。また、理科実験研究部がこの度、旭川市文化奨励賞をいただけることになり、さらなる飛躍も期待できる活動が続いています。

今後同窓の皆様のご期待に応えられるよう、力を尽くしてまいります。これまでと変わら

ぬ温かい応援をよろしくお願い申し上げます。

令和2年度から令和3年度の会務報告

令和3年

2月28日 (日)	同窓会入会式(午前・全日制、夕方・定時制)役員出席
3月1日 (月)	卒業式 欠席
4月8日 (木)	入学式 山本会長出席
7月31日 (土)	会計監査
11~12月	同窓会誌発送作業

令和4年

2月28日 (月)	同窓会入会式(午前・全日制、夕方・定時制)役員出席
3月1日 (火)	卒業式 欠席
4月2日 (土)	会長・副会長・総務部長による打ち合わせ
4月8日 (金)	入学式 山本会長出席
4月23日 (土)	役員会(44期から45期への当番期引き継ぎ)
6月18日 (土)	役員・当番期実行委員会での打ち合わせ(同窓会誌作成について)
7月26日 (火)	役員・当番期実行委員長での打ち合わせ(常設看板設置について)
8月27日 (土)	各期幹事長会議
9月4日 (日)	会計監査

令和3年度一般会計決算書

■収入の部

(単位:円)

区分	予算額	決算額	比較増減	摘要
1 繰越金	1,535,092	1,535,092	0	
2 同窓会費	1,184,000	1,193,000	9,000	
①入会金	702,000	699,000	▲3,000	233名×3,000円
②終身会費	482,000	494,000	12,000	247名×2,000円
3 ホームページ運営管理費	0	0	0	会券売上げ枚数×500円
4 雑収入	10	10	0	貯金利子
合計	2,719,102	2,728,102	9,000	

■支出の部

(単位:円)

区分	予算額	決算額	比較増減	摘要
1 総務費	1,042,200	498,418	▲543,782	
①事務費	20,000	10,000	▲10,000	消耗品費
②会議費	200,000	35,040	▲164,960	役員会、幹事長会等開催費
③通信費	100,000	32,512	▲67,488	切手、はがき、電話
④印刷費	20,000	10,000	▲10,000	会議開催案内状等印刷費
⑤慶弔費	30,000	0	▲30,000	香典、生花、弔電
⑥支部活動費	150,000	0	▲150,000	東京・札幌支部同窓会出席旅費、活動助成金
⑦広報費	240,000	182,600	▲57,400	同窓会ホームページ年間管理・運営費
⑧卒業記念品費	222,200	207,296	▲14,904	卒業生記念品247名、アルバム寄贈
⑨後援会事業費	30,000	0	▲30,000	学校祭協力費
⑩雑支出	30,000	20,970	▲9,030	振込手数料、雑費
2 文化費	930,000	723,500	▲206,500	ノースウィンド印刷費、活動費、特別会計へ補填(673,500円)
3 予備費	746,902	71,500	▲675,402	部活動全国大会懸垂幕
合計	2,719,102	1,293,418	▲1,425,684	

■収支決算

(単位:円)

収入額	支出額	残高
2,728,102	1,293,418	1,434,684

残高1,434,684円は次年度へ繰越

■令和3年度特別会計決算書

(単位:円)

収入の部		支出の部		残金
前年度繰越金	380,519	第55回総会用	673,500	次年度へ繰越 380,521
貯金利子	2			
第55回総会用補填(一般会計)	673,500			
合計	1,054,021	合計	673,500	

■令和3年度同窓会資産決算書

(単位:円)

累計額	収入額	支出額	合計累積額	摘要
8,556,136	12	0	8,556,148	積立額(郵便貯金利子)

■令和3年度同窓会記念事業基金決算

(単位:円)

累計額	収入額	支出額	合計累積額	摘要
2,013,769	17	100,440	1,913,346	実行委員会より寄付(2021年度なし)、郵便貯金利子(17)、財団法人旭川北高会寄付(100,000)、送金料(440)

人との繋がり…現役〜定年〜老後



東京同窓会会長
柿林 博司
(北高 22 期)

冒頭から私事で恐縮ですが、札幌オリ
ンピックの年に北高を卒業してから50年、
東京の会社を定年退職してから9年が経
ちました。今は第二の人生を楽しんでい
る真っ最中ですが、その糧は「人との繋
がり」です。北高同窓会は、その典型と
言えますが、色々な繋がりを持つと楽し
みも色々です。

私の繋がりが構成を年代順に並べると、
小学校の同級生、(中学は在籍した2校と
も廃校になり、残念ながら繋がりがなし)、
北高の同級生、大学の同級生、大学研究
室の同窓会員、会社の同期と同僚、会社
の同窓会員、学会の会員、家族を通じた
友人、北高同窓会の会員、定年後職場の
同僚、となります。当然ですが、繋がりが
始めた年代が異なると、話題も異なりま
す。例えば会社同期の場合は、現役時代
に研究成果や昇進を競い合いましたが、
今の話題は、実験の失敗や苦労、上司の
叱責、昔と最近の技術比較、旅行や飲み
会の計画、奥さん・子供・孫、健康、終

活など、付き合いが長く連続しているの
で多岐にわたります。一方、北高同級生
の場合は、同じクラスで付き合いの長い
友人とは、学生時代に遊んだこと、就職
後の苦労、家庭の課題などですが、定年
間近から始まった関東地区同期会には在
校時に殆ど交流が無かったメンバーが多
いので、共通だった先生、旧校舎、これ
までの人生経緯などが話題になります。

特に面白さを感じるのは、50年の時空を
超えて会話し理解し合えることであり、
不思議さを感じます。私はシャイな高
校生だったので、当時は女子と会話すら
出来ませんでした。今の私からすれば
大不思議です。同期の成長や変化に驚く
ことが、同期会の楽しみですね。

同窓会の楽しみは、何と言っても、先
輩や後輩との新しい繋がりが出来ること
です。特に北高東京同窓会では、道産子
が熾烈な環境の東京で生き抜いてきた体
験談が貴重です。数々の出来事や課題を
どう乗り越えてきたかを大先輩から伺い、
私にとって大変勉強になったことが沢山
あります。同窓会は、楽しみだけでなく
実益も兼ねていると言えます。コロナ禍
で人との繋がりが希薄になり、同窓会が
益々重要になっています。東京同窓会は、
人と繋がりが人生を豊かにするSDGs
を目指します。

旭川出身アイデンティティ



札幌同窓会会長
山川 広行
(北高 25 期)

今年度も、総会・懇親会の開催が見送
られました。残念です。同窓会本部役員
の皆様、そして当番幹事の皆様も残念で、
やるせない気持ちで、いっぱいのことと
お察し致します。同じく、札幌同窓会も
総会・懇親会は中止と致しました。誠に
残念です。

私も12月で66歳になりました。この歳
になると、生まれ故郷の旭川への想いが
強くなります。旭川では、いつも普通に
見られていた大雪山を見たい、地酒の男
山を飲みたい(札幌でも飲んでいますが)、
懐かしい、具があまり入っていない、あ
っさりした学生ラーメンが食べたい、そ
んな気持ちが湧き上がってきます。旭川
のことがとても気になります。先日、旭
川駅で撮影された「街角ピアノ」がテレビ
で放映されました。知っている人が出な
いかと、真剣に見ていましたが、出ませ
んでした。旭川への強い想いの表れで
すね。

今年、マスコミの取材や挨拶で、2人

の北高の後輩が札幌ドームを訪れました。
最初は後輩と知らなかったたので、距離を
置いて話していましたが、後輩と分かる
と、ぐっと親近感が湧いてきて、聞きた
いことをどんどん話してあげたくなりま
した。仕事で北高の先輩・後輩と会うこ
とは、とても嬉しいことです。旭川出身
というのは、私のアイデンティティなん
だな、と最近つくづく感じます。このよ
うな気持ちを持っている方は多いと思
います。こんな気持ちを再認識する場の一
つが同窓会だと思えます。今年こそは、
同窓会・懇親会を開催して、旭川出身、
旭川北高OB・OGということに、どっ
ぷり浸かり、今まで以上に、先輩、後輩
そして同期の繋がりを強いものにして
きたいと考えております。

末筆になりましたが、旭川北高同窓会
の益々のご発展と同窓生皆様のご多幸を
ご祈念申し上げます。

北高創立80周年記念事業 正門横に常設看板を設置しました

旭川北高同窓会では、2020年の創立80周年を記念し母校の発展を支援するために、常設看板を寄贈しました。場所は、国道40号に面した正門横です。

これは高校と同窓会本部が2年越しに温めていた構想でした。このたび、同窓生の皆さまに多大なご支援をいただき、実現に至りました。ありがとうございます。寄付をいただいた方々のご芳名は旭川北高同窓会公式サイトに記載させていただきます。2023年3月末ごろを予定しております。

雪の中に設立された真新しい看板には、すぐに部活動の成績や進学先、定時制のお知らせなどが掲示されました。私たち卒業生も今後、後輩の活躍や頑張りを目にするたびに、心の中でエールを贈ったり、学生時代を思い返したり、何かしら温かい気持ちが呼び起こされるのではないのでしょうか。

ご支援をいただいた皆様、本当にありがとうございました。

第56回北高同窓会実行委員会一同



近況報告

3年2組担任
山田 栄二

在職期間19年で北高を退職し、他校で時間講師を数年。その後2年の無職を経て現在幼稚園に勤務し5年が過ぎようとしています。私は保育に直接かかわっていないものの登下園時、遊び時間、課外活動などで園児との交流は沢山あります。

幼児の言動は可愛らしくて「園長先生おねがい」と言われたら何でも「うん」と言ってしまういたくなるのですが、そんな天使も時には小悪魔に変身し、キックや頭突きを繰り返して来たり、きつい言葉を浴びせて来たりします。そんな時は自制心を総動員して優しく(努力目標)接します。高校生相手の時には考えられないことでした。

この歳にして園児のおかげで、園児と共に少しは成長できたかな、と思うこの頃です。

身体的には成人病以外に問題はないものの年齢相応の脳の衰えは自覚あります。人と接することが老化を遅らせる秘訣のひとつだと言われているので、あと1年間幼稚園に勤務し園児にかまってもらって癒しと脳活に期待しようと思っています。



人間っていいですね

3年3組担任 松原紀子



45期ってどんな卒業生がいたのだろうと記憶を掘り起こしていくと、真っ先に浮かんだのが、学校祭の前夜祭で3年3組のみんなとステージに立ったファッションショーの一コマでした。この記憶が確かなものなのか、早速、卒業アルバムを引っ張り出して確かめます。

ありました。高校生と一体化？して、楽しそうに踊っている自分の姿が。記憶が蘇ります。

振り付けをレクチャーされ、嫌々ながらステージに上がった私でした。ところが、いざスポットライトが当たると、音楽に合わせてみんなと踊っていることが何とも心地よい。あの一体感とワクワクした高揚感の中にいた自分が思い出されました。自分の新たな一面の発見です。

その記憶も長い歳月の間にすっかり埋もれてしまいました。ですが、ちょっとしたきっかけで呼び覚まされます。人は生きた分だけその体験を記憶として蓄えているのですね。

今は踊れなくても、若者が側にいなくても、かつての感動を再び味わうことができる、人間っていいですね。

近況報告です

3年4組担任
山本文朗

公立高等学校を退職してから6年が経過、テレビや新聞などで「65歳以上の高齢者」という表示を目にするたびに自分も高齢者の一員になったのだと改めて自覚させられる年代となりました。現在は旭川市内の自宅で妻と一緒に小さな音楽教室を経営しております。

そんな私ですが、健康保持のためにと12年前からジョギングに取り組むようになりました。走り始めた頃は自宅の周りをゆっくりと走る程度でしたが、美瑛のハーフマラソン大会(10kmの部)に出場したことをきっかけにハーフマラソンやフルマラソンにも挑戦したいという気持ちが芽生え、現在では大会出場回数100回を超える市民ランナーとしてパーソナルベストを更新中です。今後フルマラソンを2時間台で走り切ることを目標に日々トレーニングに励みたいと思います。

文末ではありますが、皆様の益々のご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。



いつかどこかで会いましょう

3年5組担任

阿部 穰



新型コロナウイルス感染症のために同窓会は中止となったと、幹事長の青葉君から連絡がありました。北高では卒業生が45才になると同窓会を開催することは知っていたので、大人になった生徒たちと会えずにとっても残念です。

私は皆さんが2年生に進級する平成5年4月に北高へ異動してすぐに担任をしたので、皆さんが北高での最初の生徒になります。ゴミ捨ての場所すらわからずにクラスの生徒たちには何かと助けてもらいました。生徒たちと一緒に体を動かすことが好きだったので北高祭や体育大会、遠足、修学旅行、部活動などの楽しい思い出がいっぱいです。特に、クラスの生徒たちと行事の終了後のLHRにジュースで乾杯することが楽しみでした。

今年3月末に札幌国際情報高校の校長で退職となり、現在は再任用で上川高校の教頭として勤務しています。健康であればいつかどこかで会えるでしょう、皆さんもお元気で。

北高を去って20年になります

3年8組担任 片岡知之



私は今年、前期高齢者の仲間入りを果たし、同時に完全な年金生活者になりました。

この20年間にも様々なことがありましたが、肯定的な面から振り返ると、齢を重ねるにつれ精神的な棘のようなものが少しずつなくなり、それに伴って教育観にもゆとりが出始め、以前よりは余裕をもって物事に当たれるようになってきました。とはいうものの、加齢による肉体的な不具合には抗しがたく、現在は教職から遠ざかっています。

老いることは誰しも避けられないことなのでしょうが、すべてにおいて悲観的になる必要のないことがわかり、ある面で自分自身に若干の進歩があったことを感じています。

日々各方面で活躍している同窓生諸君は、今が人生において心身ともに充実している時ではないかと思えます。これから私と同様、間違いなく迎える将来に対し、過剰な期待や悲観を避け、自然体で臨んでいくことが良いのではないかと思えます。

小さな変化を

伝える仕事

谷口 直樹 (第45期)



Profile

1995年 旭川北高校卒業。
一年の自宅浪人を経て北海道大学へ。
2000年 北海道テレビに入社し、以降一貫してスポーツを担当。
2006年 ファイターズの移転後初優勝の際には、優勝監督インタビューを担当した。

先日、高校1年の息子に頼まれ、久々に卒業アルバムを開く機会がありました。ページを繰っていくと現れたのは、野球部の全校応援で訪れたスタルヒン球場の写真。そこには、野球に全く興味がなく、ただチアリーダーを眺めている18歳の自分が写っていました。その頃もし、「あと5、6年したら野球の実況することになるよ」と言われても、絶対に信じなかったでしょうし、特に何の感情も湧かなかったと思います。それほど、野球というスポーツにもマスコミにも興味のなかった私が、年間10試合以上、テレビで野球実況をする生活を送るようになるなんて、人生とは不思議なものだなあとつくづく思います。

現在は、北海道テレビ(HTB)でアナウンス部とスポーツ部に所属して、毎日様々な競技のニュースを作ったり、スタジオで視聴者の皆さんに伝えたりする毎日を送っています。2004年に球団が北海道に移転して以降は、業務の過半がファイターズ関連のものになりました。数年前からは、HTBが放送するファイターズ応援番組「FFFF(エフファイブ)」のプロデューサーも任されるようになり、チームとの結び付きが更に強まっています。

新庄監督が就任した今シーズン。

華やかな話題が多かった一方で、チームの戦績は振るいませんでした。開幕早々にリーグ最下位に沈むと、上昇の気配すら見せることなく、秋を迎えました。

そんな中でファンの気持ちを明るくさせた話題の一つが、松本剛選手の大活躍でした。周囲の人間を常に思いやる、いわゆる「いい人」。それだけに、他の選手を蹴落としてでも、というアスリートっぽさがない。報道陣への受け答えも常に丁寧で、決して調子にのったり、無意味に大きな事を言ったりしない選手でした。そんな松本選手が、今年1月のインタビューでは、「絶対にレギュラーを取ります」「打撃で結果を残します」とはつきり言い切っていました。結果をご存知の方も多いと思いますが、プロ11年目にして初めて、首位打者のタイトルを獲得しました。

ともすると聞き流してしまいそうな、そんな小さな変化に気づき、皆さんにお伝えしていく。これからもそんな仕事が出来たらいいなと思います。

旭川を訪問しました。

KDDI株式会社 執行役員

村山 敏一
(第35期)

Profile

1990年 3月	中央大学 理工学部 卒業
1990年 4月	日本電信電話株式会社（現東日本電信電話株式会社） 入社
2002年 5月	株式会社パワードコム（現KDDI株式会社） 入社
2006年 1月	KDDI株式会社、株式会社パワードコムが合併
2009年 4月	KDDI株式会社ソリューション開発部長
2010年 4月	同社ソリューション4部長
2011年 4月	同社ソリューション企画部長
2015年 4月	同社ソリューション推進副本部長 兼 IPコミュニケーション部長
2016年 4月	同社ソリューション推進副本部長
2017年 1月	同社ソリューション推進本部長
2021年 4月	同社執行役員 ソリューション推進本部長（現職に至る）



7月の末に仕事で旭川を訪問しました。3年ぶりです。前回も、仕事での訪問でした。澄んだ空気と青い空、美味しい食事とお酒が迎えてくれました。最終日は、上司を連れて美瑛まで足を延ばしました。普段は、東京で仕事をしているので、本当に懐かしい気持ちでいっぱいでした。

仕事の成果も、まあまあ。

予定していたゴルフは、諸事情で出来ませんでした。サイコーの旅になりました。旭川市のみなさんも、温かく迎えて頂き、「故郷は、いいな〜」、たまに帰ってきたいなあと思いました。私の

実家は、札幌でして、なかなか旭川までは、足を伸ばせないんです。

そうそう、この寄稿も、市役所を訪問した際に旭川市に務める北高の後輩の青葉さんからの依頼で書いております。

最終日の夜には、中学の同級生が40年ぶりに集まってくれて、自己紹介から始まらないと誰が誰だか全くわからない。学校の先生かと思えば、なんと同級生。(笑)

さて、東京は？ というところ。北高同期の高貝応援団長他、毎年2回くらいは集まっていたのですが、コロナが始まってから、会えておりません。今年こそは、集まれるんじゃないかと期待しております。団長、ヨロシク！

思えば11年前、同窓会の幹事だった年に100人くらい集まって、朝まで大騒ぎしたのが懐かしい。コロナに打ち勝つまでは、バカ騒ぎも出来ないのでしょうか？

旭川市内の移動中に北高の前を通り、懐かしさと想い出に浸りながら、先に他界した友人たちの顔を思い出して、目頭が熱くなりました。もうすぐ、年明けで56歳になります。残

された時間、仕事も遊びも、全力で毎日を大切に生きていたいと思います。娘二人も、就職し、ひと段落したところで、育ててもらった旭川のために少しでも何かしたいと思って、旭川市を訪れました。疲れたら、また、帰ります。元気にしてくれる街なので。



未来は変えられる

旭川グリーンアンバサダー

吉田 小夏
(第63期)

Profile

経歴

- ・旭川北高等学校卒業
- ・International Dance Academy Berlin(ベルリンバレエ学校) 卒業
- ・International Dance Academy Berlin, Ballettschule Hans Vogl(バレエスクール)にてバレエ講師を務める
- ・Staatsoper Hamburg(ハンブルク国立劇場)へ入団。
- ・2021 Miss Earth Japan 日本代表
- ・旭川グリーンアンバサダー就任

受賞歴

- ・International Dance Academy Berlin 校内コンクール4年連続金賞受賞
- ・2018 Japan Ballet Competition 優勝 芸術賞、技術賞、スカラシップ受賞
- ・2021 Miss Earth Japan 北海道大会 グランプリ受賞
- ・2021 Miss Earth Japan 日本大会 グランプリ受賞
- ・2021 Miss Earth 世界大会タレントコンペティション ブロンズ賞受賞

私は現在、初代旭川グリーンアンバサダーとして、ゼロカーボンシティ旭川のPRと地球温暖化対策に関する活動に取り組んでおります。

ミス・アースグランプリのご報告に旭川市長を表敬訪問させていただいたところ、旭川市もゼロカーボンシティ宣言をされたご縁で、現職に就任させていただきました。

2022年1月に就任してから1年未満ですが、市政100年記念植樹や旭川出身タレントの杉村太蔵さんとの討論会、講演会や環境イベントなど様々な活動をさせていただいております。

北高を卒業した2013年には、まさか地元で環境大使になるとは想像もできませんでした。

こう見えて理系の大学進学を目指していましたが、心から興味を持てる学部を見つけたことが出来ず、人生一度きり、大好きなバレエを極めたいとドイツ留学を決意しました。

ドイツへは住むところも決めず、キャリアバッグ一つで行きました。海外へ行くことも初めてだったので、両親の不安も大きかったと思います。

学校ではバレエの他に様々なジャンルのダンスを学び、フランス語や解剖学、社会学などの座学もありました。ドイツ語が全く分からなかったのですが、最初はまるで映画を観ている感覚で授業を受けていましたが、先生方やクラスメイトに支えられ無事に卒業することができました。

ドイツでの生活も気づけば6年が経ち、ハンブルクのバレエ団の契約満了を機に帰国を決断しました。

帰国後もバレエを続けるつもりでしたが、感染症が広がり、予定していたバレエの公演は全て中止、レッスンは出来なくなりました。

そんな時、世界4大ミスコンテストの一つであるミス・アース出場を勧められました。

思い切って踏み込んでみたミスコンの世界は、私の想像とは全く違い、出場者同士が互いに認め合い努力し、切磋琢磨する中で自分と向き合い成長できる素晴らしい場所でした。日本各地から集まった代表との出会いは私にとって宝物になりました。

5才の頃からの夢を叶えるため挑戦した海外留学。

次のステージアップにミスコンにも挑戦しました。

私は何かを実現させるためには諦めないことだと思っています。高校時代よく神社を参拝してから登校しました。神頼みもしますが、偶然訪れるチャンスではなく、自分で掴む”オポチュニティ“が大切だと思います。

今、私には次の夢があります。それは、世界の恵まれない地域の子供たちに綺麗な靴を届けることです。





第二新卒向けの就職支援で創業 同級生は地元旭川に支社立ち上げ



株式会社 UZUZ 旭川オフィス拠点長

水野 峻 (第56期)

Profile

2006年 旭川北高卒業
東京学芸大学卒業後、営業会社、投資
での生活とニートの状態をいたりきた
りした後、映画製作に携わる
2014年 UZUZ創業メンバーらとルームシェア
2016年 UZUZ入社
2021年 旭川オフィスを開設し異動

株式会社 UZUZ 代表取締役

岡本 啓毅 (第56期)

Profile

2006年 旭川北高卒業
アメリカのアラバマ州立大学ハンツビル
校卒業
新卒でIT企業に就職し1年で退職
UZUZの前身となる人材紹介事業会
社に入社し1年後に自ら買収
2012年 UZUZ創業
現在はグループ全体で142名雇用

「おふたりは北高の同級生とのことですが、どんな生徒でしたか？」

岡本 実は僕たちは小学校からのつきあいなんですよ。小中と東光で野球をやっていました。北高ではボウズが嫌で野球部に入らなかつたけど。

水野 僕は授業を抜け出してはスタルヒン球場に野球を観に行くような生徒でした。

ひー(岡本のあだ名)は顔が広くて、やんちゃな人やおとなしい人でも誰でもがしゃべりかけやすい人だったよね。

岡本 峻はいじられキャラ。抜けてるところもいっぱいあるんだけど、数学だけは勝てなかった。難門を解決するのが得意で、今はマーケティングで誰にも負けない価値を發揮してくれています。

「UZUZの創業について聞かせてください」

岡本 大学生のときから20代のうちに起業しようと思っていました。仕事をするんだつたら一番楽しい環境で働きたい。それなら起業するしかないと思ってたんです。だから、一度は就職するけど1年で絶対やめると最初から決めていました。

その1年が過ぎ起業しようというタイミングで、縁あって友人と既卒・第二新卒という若手人材に特化した人材紹介の事業につきました。最初は「会社にお金がないから雇えない」と断ら

れたのですが、「3ヶ月で一番売上出せなかったら切っぴいのでチャンスくれませんか？」と打診したところ了承してもらえて入社することができました。

そこまでこだわった理由は、その会社が社長一人と友人と私の3人だけの会社だったので、起業に近い経験ができると思ったためです。

気づいたのが、1社目すぐ辞めちゃった人や、就職活動しなかった人にも、すごく良い人がいっぱいいるということ。辞めたという事実だけで多くの若者にダメレッテルが貼られているのは日本にとって大きなロス。僕の人生をかけてチャレンジしたいなと思いました。

そんなとき社長から、海外で暮らしたいから事業を閉じると聞かされて。だったら買取させてください。売上から少しづつお金を払っていきます。とお話しして、2012年UZZZを創業しました。

—水野さんは創業4年後に参入し、今年旭川オフィスを立ち上げたんですね

水野 まだ入社する前にUZZZ創業メンバー3人と一軒家で一緒に住んだ時期がありました。ひーが毎日ずっと仕事の話をイキイキ話して

いるのが印象的でした。地域を活性化させたいという話に共感し、その後入社しました。

2019年にひーが、サテライトオフィスの展望があると話してきたので、それなら旭川に出せたらいいなと言ったんです。そういえば、何がきっかけでサテライトオフィスを出そうと思ったの？

岡本 そんなの峻がずっと旭川に帰りたいて言ってたからじゃん！

でも、峻だけが特殊なわけではなくんですよね。みんな地方から集まっている会社だから、ライフステージが上がれば同じように地元に戻りたいと思う人も出てくるはず。地元に戻る選択ができている先輩社員がいるのは、他の社員にとっても良いと思っただけですよね。

人がパフォーマンスを上げられるときって、自分で意思決定しているとき。峻が納得して拠点を立ち上げたら、大変だけど今以上に頑張ってくれるだろうと思っただけです。

地方活性化にも役立つし。旭川オフィスには、カスタマーサービスやマーケティングの機能を移管しました。

—地方にとって夢がありますね

岡本 そのとおり、今は地方活性化に目を向けています。地元旭川で、

ITが学べる専門学校を立ち上げて行きたいと思っっているんです。

エンジニアであればスキルさえあればリモートワークができるので地元で働くことができますし、収入もどんどんあげていきます。

高校を卒業する若者だけではなく、「もっとスキルを高めて成長して行きたい」と考える社会人が働きながら学ぶことができる通信課程がある専門学校を作って行きたいと考えています。

—聞いているだけでウズウズする大きな夢をお持ちですね！最後に同窓の皆さんへひとことお願いします。

岡本 日本を変えていくために事業を拡大していきます。雇用ももっともっと生み出します。旭川でも一緒に働ける環境がありますよ。

水野 興味がわいたら連絡いただきたいですね。



旭川オフィス立ち上げの際に今津旭川市長を表敬訪問

インタビュー
高塚麻紀子(北高45期)
株式会社ライナーネットワーク
取締役広告部長

コロナとともにスタートした

宿業も3年目に。

阿部 春奈（旧姓 朝倉）

2020年1月1日に、美瑛町で民宿「くつろぎの宿 結び家」を開業し、夫婦で切り盛りしています。買い出しで旭川に出ることが多いですが、たまに花咲大橋を通ると、友達と自転車通学した懐かしい日々を思い出します。

北高卒業後、郵政事務官として東川郵便局で勤務していましたが、23歳で退職し上京。同級生の皆は意外と感じると思いますが、バンド活動をしながら、フリーター生活を送っていました。

37歳で結婚し、思いがけず阿部譲先生と同じ名字になり(笑)、40歳になる年に、親の経営するペンションの後継ぎとして、主人を連れて北海道に帰ってきました。



2年間の修行の後、後継ぎは弟にお願いすることに決め、独立。開業してまもなく新型コロナウイルスの流行が始まり、苦しいスタートとなりましたが、友人やご近所の皆さん、お客様など、沢山の方々に助けて頂きながら、毎日楽しく頑張っています。

小欲知足・因果応報・

縁と運とタイミング

岩間 健一

浅草在住、妻1人、娘1人、息子1人、犬1匹。北高卒業後、19歳の時ワシントンで交通事故にあう。

20代半ばまで飲まず食わずの日雇いニートを淡々とこなしつつ防御率0・92で国立の草野球チームで表彰され25歳で国民年金の支払い義務を知る。

その後、奇跡的に某大手不動産会社に就職。己のセンスを知る。

素人ながら結構な売り上げを叩き出し注目されるがその後天狗になり数字を上げられず退職。

二度とこの業界になんか入らないとふてくされ再びニートを続けるがまさかのお誘いがあり浅草の不動産会社へ。浅草特有の人たち(外国籍、生活保護、水商売)との折衝もかなりの数を経験する。

約10年の経験で感じることは、心ある人の支えの中で生かされている自分であることと、この業界の不透明性と閉鎖感。お世話になった方への恩返しと業界変革を本気でやっつけようという決意。
平成24年 浅草不動産(株)設立。



歳を取りました

菅野 真敏 (クロカン)

北高は楽しかったなあ(周囲には迷惑だったかもしれないが)。卒業後20年以上経っても変わらずに接することの出来る友人達がいる。

北高を卒業して良かった。

そう思います。

私は現在、旭川市内で介護事業を営んでいます。

「住宅型有料老人ホーム凜」「エール訪問介護」「通所介護事業所しゅん(デイサービス)」の1施設と2事業所を運営中。

平成26年から5年間順調に進んできていたはずが、やはりコロナの影響は小さくなく、ここ3年はなかなか難しい現状です。

それでもまだ、同業他社に比べれば職員に恵まれているのが救い。人手不足の世の中でそれだけでも感謝です。

仕事以外では、サッカー少年団でコーチをしています。



「ルフオール旭川」市内中央部の小学校がメインの少年団です。団員募集中！
家族は妻と5人の子供(中3女、中1男、小2女、小1女、年少女)。
父は頑張っています。

あの頃と同じ日々

溝田 令

高校を卒業して27年。私は小さい頃からヴァイオリンをやっていて、当時習っていた東京の先生がそれはもう恐ろしいほど厳しく練習の日々。学校に行っている間は練習をしなくていいので、学校が唯一のオアシスでした。

ヴァイオリンのレッスンが辛過ぎて在学中の記憶はほぼないので、英語科だったので授業の半分は英語漬けだったこと(その後の人生には役に立っていないけど...)明るいクラスメイト達に癒されていたことで頑張れたことだけは心に残っています。

卒業後は東京の音楽大学に進学し、その後はベルギーに11年、神戸に5年、2016年に旭川に戻ってきました。今は自宅でヴァイオリン教室をやりながら、演奏活動もしています。高校時代と同じ練習の日々も継続中…

旭川でももっと気軽にコンサートに行けるような、本当の意味での音楽の街になるように何か出来ないかなと模索中です。



ただいま旭川

川尻 小織 (旧姓 羽場)

体育と音楽だけ成績が良かった私。新体操部を作り、ほとんど部活のために学校に行っていました。

高校卒業後は上京、海外留学を経て帰国後に起業。全国でダンスイベントを開催したり、エンターテイメントな仕事を行ってきました。

地球の裏側へも行き、パラグアイ移民80周年式典では invitation CARD を胸に眞子さまのご尊顔を押し、大きな舞台のディレクションのためパトカーに先導されながら、その隣国アルゼンチンに渡ったこともありました。

数えきれないほどの「楽しく好き勝手な人生」を送り、44歳で子供を授かり、主人と共に旭川へ。会社も移転。

娘中心の今までと全く違う人生。でも今が一番最高です。

娘がきっかけで「発育ダンス」を旭川に初上陸させ、スタジオオミッ

チュも始めました。

自己肯定感を上げ、

運動神経のみならず、

学力アップも期待でき

ます！

小さなお子様にオス

スメです♪



「好き」を仕事にする、

欲張りな日々

高田 あかる (旧姓 志田)

高校2年生の頃にデザインの仕事に就くことを決め、卒業後は北海道東海大学旭川校でグラフィックデザインを学びました。閉校となり寂しい限りですが、当時地元で専門の学科があったのは幸運でした。

縁あって帯広市で就職し、パッケージの版下データ制作やデザインに携わりました。転職を経て雑誌や広告など紙媒体のデザイン全般を手掛けてきました。

今年退職し現在はフリーのデザイナー兼ピラティスインストラクターとして、二足の草鞋で活動しています。ピラティスは13年ほど

前に趣味で始めたバレエがきっかけで、指導ライセンスを取得するに至りました。

身体を動かすのが好きなわりに高校時代は部活もせずバイトに明け暮れていました。もともと身体を鍛えておけば良かった…w。勉強もさっぱりでしたが、北高での生活はとても穏やかで居心地が良かった記憶があります。



海外駐在員として、

日本人の誇りを胸に

佐藤 英伸

2014年から海外赴任する機会をいただき、友人たちへ発信する海外生活SNS投稿を通じて、僭越ながら今回の同窓会寄稿となりました。

さて私事、駒澤大学でサッカーに明け暮れた後に入社した会社で、仕事に没頭した14年間。その後、国際事業部の社内人材公募選抜制度により、アジア各国に出張し早8年も海外赴任してきました。

海外から客観的に日本を見た時、「日本の常識は、海外では非常識」なんてことも多々ありますが、「どちらが正しい」ということではなく、習慣や文化の違いを知ること、お互いをより理解することが可能になります。



そんな中でも日本/日本人が誇れる点としては、①美意識②時間感覚③公共マナー④食の豊かさ⑤協調性/思いやり【ではないでしょうか。私にとって、今暮らすベトナムに適応し、そこで暮らす現地の人たちとの交流は、本当に充実した日々となっています。

趣味を仕事にし、

パンを焼き続ける毎日です

西村 奈央（旧姓 村木）

高校卒業後、北星短期大学に入学。短大卒業後は航空会社に入社し、新千歳空港にて約10年、グラウンドスタッフとして地上勤務しました。

結婚を機に退社し、子育てをしながらパンの技術を取得し料理教室にてパン講師として勤務。その後、パンに関する知識と技術を更に深めたく、何店舗かパン屋を経験したのち、現在は札幌市東区にパン屋「KONGARI(コンガリ)」をオープン。まだまだ小さな店舗ですが、パンに限らず食に関わる事業を更に展開していきたいと思っています。

コロナ禍で、なかなか同級生とも気軽に集まったり会えないのが残念ですが、お近くにお越しの際は是非お声掛けいただければ嬉しいです。



感謝の気持ちで

阿部 真秀

はじめに、同窓会長青葉くん、谷口孝之くん役員皆さんお世話をご苦労様。いつか同窓会で再会できたならば、司会進行にはHTB谷口直樹くんをイチオシで願います。

さて、私事、衣にお袈裟かけて365日修行中。毎朝6時、本堂の梵鐘を108回鳴らして一日がスタート。

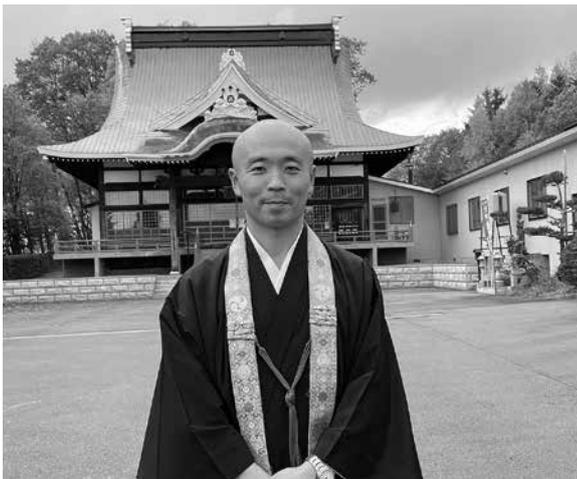
さて、北高時は打てども響かぬ生徒だった。ある時、暗がりの喫茶店自販機で煙草を手にした瞬間、横から腕が伸びてきて、見上げる相庭先生が…

凍り付いた。

ところが、先生はそれを買って上げてくださり、「わかるよな」と一言。

後日、ご沙汰無しで先生個人の恩赦と気づき、人情に感謝しながら相庭先生の日本史熱血授業を受講させていただいた。今更ながら先生にお世話になりました。

また、球場で野球部応援時、仲間で外野芝生になだれ込みサプライズの北高体操は楽しかったなあ。今、忘れかけている北高体操を誰か教えてください。



高校時代は・・・

杉山 友和

北高3年時は理系の7組でした杉山友和です。卒業後、札幌の北海学園大学工学部建築学科に進学し、建築を学びました。その後札幌にある建築設計事務所等に計11年勤務した後、念願でした独立を果たし、現在は札幌に居を構え、個人で札幌市東区にて建築設計事務所を営んでいます。主に注文住宅、医療系、飲食系の設計を行っています。

道北の中頓別町出身の私は、北高入学に伴い親元を離れ、高校近く金星橋の袂にあった下宿街の一軒にお世話になり、下宿暮らしをしていました。その近所にあった護国神社裏の小さな商店で部活帰りに皆んなで飲食しながら、たわいもない話をしていた事が、何故かとても記憶に残っています。

正直なところ、高校時代は何を頑張ったという訳でもなく漠然と過ごした感じがしていますが(笑)、そんな時間であったとしても、今では懐かしく大事な記憶の一部です。



「晴れ時々曇り」

椎名 伸行

突然の同窓会誌への寄稿の依頼をいただき、自分の文才のなさを痛感しつつ高校時代を振り返りながら現況を報告いたします。

高校時代は社交的ではなく、いつも同じ仲間と一緒にいた。怒られる時もいつも一緒だった。今では問題となるかもしれないが、鉄拳制裁も普通にあった古き良き(?)時代だ。進路を決める三者面談では担任から「君のいける大学はないね。」と真顔で言われたのを覚えている。実際に3浪したことを考えると、間違ってたなかったようだ。

環境にも人にも恵まれ現在に至っている。高校時代の仲間にも時々会っている。現在の病院は北海道一の肺癌の手術件数を誇る。そんな中、平成生まれの後輩たちの教育は、鉄拳制裁はもつての外、○ハラスメントに気を付けなければならぬ世知辛い世の中だ。涙もろく愚痴っぽい年代になり、心の中は曇っていることが多いが「晴れ時々曇り」で生きていきたい。



現職
札幌南三条病院呼吸器外科部長

地続きの経験

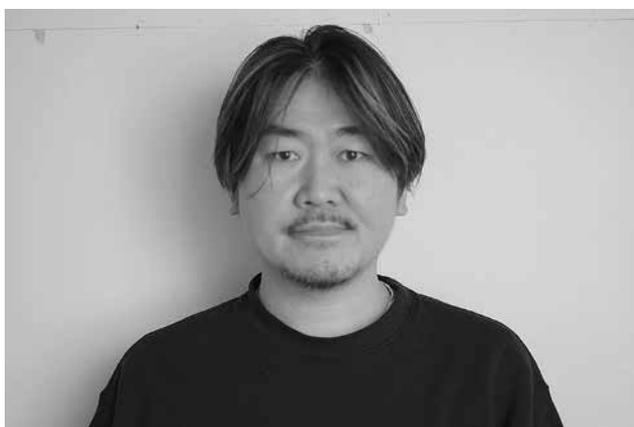
浜辺 令

高校を卒業して早いもので27年が経っている。あの頃の記憶は途切れ途切れになっているものの間違いなく今の自分を形成する代え難い時間だったと思っている。

毎日の通学、授業、放課後、たくさんの友人や仲間と出会えた3年間でした。

その後は北高卒ではめずらしく、大学へも行かず(行けず)セレクトショップでの勤務、海外留学を経て自分の店を持ったのが28歳のとき。

19年目に入ったお店は《衣》Less Higashikawa《食》ontheshitable《住》Less Asahikawaと3店舗を細々と構えてるが、まだまだやりたいことは増えるばかり。自分のやりたいこと、興味関心に突き動かされ様々なことを積み重ねてきた。学生時代から続いている、楽しいこと、心動かされた物事を共有したいという衝動はきつとこれからも変わらず続いていくだろう。



ドラムと私

加藤 祥恵

卒業後、バックパッカーひとつ背負って向かったイスラエル・エジプトを放浪する旅。そこでは私の人生の宝となった世界の太鼓文化との出会いがありました。

結婚、出産、子育て、離婚を経験して35歳で旭川へ戻ってきた私は、「これからの人生を生きるために大切なこと」を内に問い、そして、ドラム講師の職業に就きました。人生を鼓舞し続けてくれたドラムを通して、これからドラムと出会う人にも、リズムで日々の足取りを力づけ、『元気と勇気とやる気』を分かち合うこと。それが今、ドラムに助けられた人生を送ってきた私の願いです。

10年を経た現在、たくさんのお友達との出会いと実りに恵まれています。お互いに学び合うことから得られるものは、心の愛を交わすことなのだと思われ、溢れることもあります。今ようやく、これまで先生方が与えてくださった恩恵をかみしめています。

写真Ⅱ 大道芸フェスで道ゆく人達と即興打楽器セッション。中央が私。



卒業から今を振り返る

医療従事者の立場から

朝野 七重 (旧姓 東出)

令和4年10月某日、小中高一緒だったまきちゃんからLINEがきました。寄稿して、という相談に「いいよ」とつい返事をしてしまいました。いざ書こうと思うとなかなか筆が進まないものです。私は北高卒業後医療の道へ進み、現在市内の病院で看護師として勤務しています。ここ数年はいうまでもなくCOVID19との戦い。コロナ禍以降は疲労疲弊して医療業界から離れる人も多かったです。クラスターはまさに災害でPTSD状態になる医療者も多く、感染病棟の師長をした経験もありますが、退職を止めることはできないと感じながら人出不足に葛藤する毎日です。自分自身も振り返ると涙が出そうになります。

一方で、医療従事者になりたいという子供たちがいると聞くと、未来の宝だな、と思います。今の私の役割は人材育成だと思っています。皆様も健康に留意し共に前を向けるようにお祈りし、終わりとさせていただきます。



醸造から花の世界へ。

自然と共に暮らす今

木下 いずみ（旧姓 佐藤）

北アルプスの峰々を望む自然豊かな安曇野の地に移住して13年が経ちました。

赤松などの木々に囲まれた山麓沿いには、カフェやギャラリー、別荘などが点在し、都会からの移住者も多いこの地で私は今、花屋を開いています。

高校卒業後は、東京農業大学醸造学科で微生物を学び、卒業後は地ビール会社でビール醸造に携わっていましたが、退職後旭川へ帰郷した際、好きだった花のプロになろうと一念発起。花屋に勤務しながらフラワーデザイナースクールで講師資格を所得。

結婚を機に長野に移住してからは松本の花屋でウエディング装花の業務に長く携わり、厳しくも多くのことを学びました。

出産を機に退職した後、元々花屋勤務と並行して開いていた花の教室を再開したのと同時に、花屋として独立。日々の暮らしに寄り

添うような自然を感じる季節のお花を提案しています。今後は花の栽培も手掛けていけると計画。



高校2年（1993年6月）の時、サッカー部遠征先の留萌市で不慮の事故で亡くなられた同期の宮原篤史さん。30年の時を経て改めて故人を偲んでいただければ幸甚です。

進路指導部(全日制)

佐々木 崇裕

【国立大学合格者数】(現役+過年度)

大学名	H29	H30	R1	R2	R3
北海道大	11	6	12	9	13
北海道教育大	21	27	28	35	22
室蘭工業大	14	8	4	4	6
北見工業大	5	2	4	2	2
小樽商科大	4	10	8	8	12
帯広畜産大	1	4	2	1	1
旭川医科大	7	9	7	10	8
弘前大	6	5	11	9	4
岩手大	4	4	4	4	6
東北大	1	1			1
秋田大	1		1	1	
山形大	6	2			
茨城大	1		2		4
筑波大				1	1
宇都宮大	2				
埼玉大	2	1	1	2	3
千葉大	1		2		1
京都大			1		
東京大		1			
東京外語大					
東京農工大	2		1	1	
横浜国立大	2		1	1	
新潟大	3	3	4	7	9
富山大	2	3	1	2	1
岐阜大					
金沢大	1	4	4	3	1
信州大	2	1	1		2
静岡大	1	7	4	2	1
名古屋大	1				
京大	1	1			
大阪大			1		2
神戸大				1	1
広島大					2
長崎大		1		1	
琉球大					1
札幌医科大	1	3	2	7	4
札幌市立大	3	2	2	1	2
公立ほくこで未来大		2	2	2	
釧路公立大	6	2	4	11	6
名寄市立大	6		8	6	6
千歳科学技術大(R1~)		15	3	4	5
高崎経済大	1	2	4		2
神奈川県立保徳大				1	2
東京都立大	2	2	1	1	2
横浜市立大		1			2
都留文科大		1	2	3	1
新潟県立大	1				
愛知県立大	1			1	
その他	8	5	3	12	13
国立大計	132	134	135	153	149

*旭医大 医学科 H23(1),H24(3),H26(2),H27(1),H28(2),H29(1),H30(1),R3(1)
札幌医大 医学科 H27(1),H28(1),R1(1)

【私立大学合格者数】(現役+過年度)

大学名	H29	H30	R1	R2	R3
藤女子大	14	10	11	6	6
北星学園大	15	14	28	27	14
北海学園大	38	30	36	37	29
天使大	2	6	3	5	2
北海道科学大	37	32	36	11	21
酪農学園大	4	3	10	10	10
北海道医療大	9	20	19	15	21
日赤北海道看護大		2	6	3	4
北海道文教大	4	3	8	4	1
獨協大	7	1	6	3	5
青山学院大	3	3	3	2	1
学習院大	1	1	2	1	1
慶應義塾大		2	1		
東京女子大					
駒澤大		1	2		1
上智大			1		2
専修大	5	3	1	1	1
創価大	4	4	1		
中央大	6	7	5	3	5
津田塾大		1	1		
東海大	5	6	2	4	4
東京農業大	1	3			2
東京理科大	4	2			1
東洋大	5	2	4	4	2
日本大	5	1	7	4	3
法政大	11	8	11	4	5
明治大	2	1	4	3	4
明治学院大	4		1		4
立教大	2	2	4	2	2
早稲田大	2	1	1	1	
神奈川大	2	2	1		2
京都大					3
同志社大	1	2	2	1	1
立命館大	2	2	4	2	
関西大		1	1		
近畿大	3	1	4		3
関西学院大	1	2	2	1	1
その他	84	54	104	99	87
私立大合計	283	229	332	253	248

【公務員・民間就職 合格者数】(現役)

種類	H29	H30	R1	R2	R3
国家公務員		2	3	2	2
道庁職員	2		2	2	2
市町村職員	1		3	2	1
他の公務員	4	2	2	4	1
民間就職					2

本校は単位制導入以来、進学先をどんどん広げ、近年では道内はもちろん、約半数が北海道を離れ、関東圏にとどまらず、九州、沖縄まで進学しています。それは高校在学中に自分がどの分野に興味関心があるのかをしっかりと考え、自分が学びたいことを学べる場所を求めた結果と言えます。

単位制の進路指導では、一年次より、将来的に考えて、大学で何を学びたいのかを具体的に考えさせることから始まります。また、道内外の大学による説明会や出張講義などの実施、またオープンキャンパス等への積極的な参加の奨励などが特徴としてあげられます。また、若手の同窓生が中心となり、自分の職業について生徒に語る「先輩図鑑」という企画も昨年度で十三回を数え、参加した後輩達に大変好評です。このように早期より本物に触れさせることによって、自分が将来、どのような職業を目指し、そのためにどの大学を目指すのかという目標を、できるだけ明確に持つよう進めています。

近年は「入れる大学」から「入りたい大学」を選ぶ者が増えてきました。昨年度は大阪大、神戸大、東北大、北大、旭川医科大などの難関国立大学や、上智大、立教大などの難関私立大学に現役で合格しました。また、浪人生も健闘し、北大等へ進学しました。

今春入試は「大学入学共通テスト」二年目の入試でした。より思考力、判断力、読解力が問われる出題となり、複数教科、科目での大幅な難化による平均点ダウンがありました。そのような中で北高の生徒は苦手教科、科目にも最後まで粘り強く取り組むことができ、科にわたり手を抜かず仕上げることで、全教科にわたって結果につながることができています。真面目に最後まで粘り強く取り組めることは、北高生の強さだと改めて感じました。今春の卒業生もコロナ禍に見まわれ、高校生活最大の行事である見学旅行が実施できず、夏休み前に一泊二日の学年旅行が行われませんでした。生徒たちは見学旅行が中止になったこと

とを吹っ切って、全力で学年旅行を楽しみました。旅行後の受験勉強への切り替えは早く、自習教室である数学教室はいつも生徒たちでいっぱいでした。学年旅行を私たちがのために企画してくれた先生方への感謝の気持ちも受験勉強の原動力の一つになったのかもしれない。その結果が国立大学に137名が現役合格、難関大学への合格につながったのだと考えます。

現1年生から新課程が始まり、総合的な探究の時間など、教育活動は時代や社会の変化に合わせて、大きく変わってきています。教育活動に携わる中で、私たちができないことが多いと実感します。先述した先輩図鑑もそうですが、今のことも私たちは教員以外の「大人」との関わりが大切だと感じています。また、探究活動では、積極的に外部の方に講師をお願いしています。同窓生の方で協力していただけの方がいましたら、ご連絡いただければ幸いです。

令和2年度 進路別人数 卒業生の進路

区分	合計			前年				
	男	女	計					
卒業者数	116	117	233	234				
進学希望者数	115	111	226	227				
進学者数	100	104	204	212				
進学先	大学	国立	道内	38	38	76	84	
			道外	30	20	50	43	
		私立	道内	17	16	33	41	
			道外	12	20	32	26	
		短大	国立	道内	0	0	0	0
				道外	0	0	0	0
	私立		道内	0	1	1	1	
			道外	0	1	1	0	
	大学校等	2	0	2	0			
	専攻	看護	道内	0	3	3	6	
道外			0	0	0	0		
校門		道内	1	4	5	9		
		道外	0	1	1	1		
就職	公務員	1	4	5	3			
	民間	0	2	2	0			
	自営：家事手伝い	0	0	0	0			
その他(未定を含む)	15	7	22	20				

国立大学現役合格者数及び1クラスあたりの平均合格者数

卒業年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
学級数	6	6	6	6	6	7	6	6
合格者数	120	97	107	113	119	126	143	137
人/クラス	20.0	16.2	17.8	18.8	19.8	18.0	23.8	22.8

難関国立大、医学科合格者数(現役)

大学名	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
北大(文系)	2	1		1	2	3	1	5
北大(医理系)	11	1	5	6	3	8	7	5
札幌医大(医)			1			1		
旭医大(医)			1	2	1			1
北工大			1	1	1			1
筑波大	1			1				1
東京工業大								
東京外国語大	1							
名古屋大				1				
京大	1	1			1			
大阪大			1			1		1
神戸大			2	1			1	1
計	16	7	11	10	8	13	9	15



令和3年4月からの成績（大会の結果等）を中心とした部活動の紹介および近況報告

●野球部

今年度は3年生9名、2年生11名、1年生9名、マネージャー3名の合計32名で活動してきました。

昨年の秋季大会では、初戦の旭川商業高校戦をコールドゲームで勝利した後の2回戦で旭川東高校に0対10のコールドゲームで敗れました。攻撃・守備の全てにおいて自分たちの力の無さを痛感した悔しい大会でした。秋季大会の敗戦を受けてチーム一丸で取り組んだ冬季練習では、ウエイトトレーニングやサーキットトレーニングなどを主体とした体作りと、例年より強くバットを振るために素振りでも数多く練習し、守備力の底上げを確立するためキャッチボールやボール回しといった基本となる部分の徹底を積み重ねました。練習の中で自分たちの技術不足だけではなく、チーム内での目標に対する意識の差や仲間同士の指摘不足など多くの課題がありました。全員で克服できるように取り組んできました。

雪が溶け、練習試合などの実践を経験して迎えた春季大会では、初戦の留萌高校戦を勝利して、夏のシード権を賭けて昨年敗れた旭川東高校と対戦しました。成長を見せることも出来ましたが、5対7での敗戦となりシード権を得ることが出来ませんでした。チーム内の徹底事項の浸透が甘く、練習中に繰り返し起こっていたミスが試合

でも発生しての敗戦。日々の練習の一球に対する甘さを痛感しました。

3年生にとって最後となる夏の選手権大会、初戦は旭川永嶺高校と対戦しました。試合は一進一退の攻防が続き、延長戦へと突入、全校応援の後押しと自分たちの気持ちを乗せた攻撃で8対7のサヨナラゲームで勝利することが出来ました。全道大会を賭けて臨んだ代表決定戦では、旭川明成高校に7対12で敗れてしまいました。今季の目標であった全道大会進出とは行きませんでした。1年間最後までチーム一丸で成長し続けることができました。引退した3年生の勇姿と気持ちを受け取り、自分たち1・2年生が、課題は山積みですが伝統の北高野球部の目標である「甲子園での勝利」を目標に日々精進していきたいと思えます。

●ソフトテニス部

令和3年は、3年生5名、2年生3名、1年生7名の計15名で活動をスタートしました。高体連では、個人戦ダブルスで全道大会に進出しただけではなく、念願の団体戦においても全道大会に出場することができました。全道大会での対戦相手には力及ばず、なかなか勝利をあげることができませんでした。チーム全員が一丸となって最後まで真剣にソフトテニスに向き合うことが出来ました。その後、1年2年合わせて10人の部員で力を合わせ、コーチの指導の下技術を磨き、新人戦地区予選において個人戦ダブルスとシングルス、そして団体選抜地区予選において全道大会出場権を獲得しました。全道大会では、自分たちのやってきたことが間違っていないという自信につながる大会となりました。

令和4年は、3年生3名、2年生7名、1年生4名の計14名で活動しています。高体連地区大会においては、令和3年に引き続き個人戦ダブルスと団体戦で全道大会出場権を得ました。新人戦地区予選や団体選抜地区予選においても全道大会進出を果たしました。試合では、自分たちの思い描

いている結果を残すことができていない悔しさがあるようです。しかし、日々のトレーニングの成果を発揮することができているので、試合を経験することに内容がよくなっています。

最後に、日々私たちを見守り、支えてくださる保護者と先生方、何より忙しい中私たちのために時間を割き、ソフトテニスと真剣に向き合い、楽しむことの大切さを教えてくださるコーチに感謝しています。どうもありがとうございました。そして、これからも全力でソフトテニスに取り組みしていきますので、応援をお願いします。

なお、令和3年から寄稿時までの主な結果は、次のとおりです。

【大会結果】

- ◇第74回北海道高等学校ソフトテニス選手権大会
旭川支部予選会
女子団体 第3位
女子個人戦 小松優芽・阿部紗弥ペア
ベスト8 全道大会進出
- ◇令和3年度第74回北海道高等学校ソフトテニス選手権大会兼
第71回全国高等学校ソフトテニス選手権大会北海道予選
女子個人戦 小松優芽・阿部紗弥ペア
2回戦敗退
女子団体 1回戦敗退
- ◇第51回北海道高校新人ソフトテニス選手権大会
旭川地区予選会
ダブルス 小松優芽・黒谷萌衣ペア
ベスト8 全道大会進出
- ◇第51回北海道高校新人ソフトテニス選手権大会
ダブルス 小松優芽・黒谷萌衣ペア
2回戦敗退
- ◇第47回全日本高等学校団体選抜ソフトテニス大会
旭川支部予選会
予選リーグ戦 第2位
決勝リーグ 第2位 全道大会出場
- ◇第47回全日本高等学校団体選抜ソフトテニス大会
北海道予選会
予選リーグ戦 2回戦目敗退

◇第75回北海道高等学校ソフトテニス選手権大会
旭川支部予選会
女子団体 第3位
女子個人戦 小松優芽・佐藤みなみペア
ベスト16

◇令和4年度第75回北海道高等学校ソフトテニス選手権大会兼第72回全国高等学校ソフトテニス選手権大会北海道予選
女子個人戦 菅野あかり・黒谷萌衣ペア
2回戦敗退
女子団体 2回戦敗退

◇第52回北海道高校新人ソフトテニス選手権大会
旭川地区予選会
ダブルス 菅野あかり・黒谷萌衣ペア
ベスト16 代表決定戦勝利
(全道大会進出)

◇第52回北海道高校新人ソフトテニス選手権大会
ダブルス 菅野あかり・黒谷萌衣ペア
2回戦敗退
戸屋彩愛・倉内瑛美ペア
ベスト16 代表決定戦敗北
(全道大会進出)

◇第48回全日本高等学校団体選抜ソフトテニス大会
旭川支部予選会
予選リーグ 第1位
決勝リーグ 第3位 全道大会出場

●男子硬式テニス部

今年度の男子硬式テニス部は、3年生5名、2年生4名、1年生2名の計11名で活動しています。R3年度については、春季大会で男子団体準優勝、多田・渡辺ペア、安田・吉田ペアが全道大会出場を果たしました。秋季大会では安田が個人シングルスで4位入賞を果たすなど、良好な戦績を残

しました。

R4年度は、第3シードとして臨んだ春季大会団体戦はまさかの1回戦敗退となつてしまいました。選手権大会は、団体戦が2回戦で第1シードに善戦するも敗退し、全道進出は叶いませんでした。ダブルスも順位決定戦で敗れ、あと一步のところで全道進出を逃しました。夏季大会の団体戦は、1回戦で敗退したものの、順位決定戦では全勝し、5位となりました。そして、全道出場をかけて臨んだ秋季大会でしたが、1回戦から第1シードにあたり、残念ながら1回戦で敗退してしまいました。しかしながら、個人戦ではシングルスで加藤、大嶽2名が準優勝と3位入賞を果たしました。特に大嶽は、春季大会でも足も出なかつた相手を圧倒し、雪辱を果たしての入賞となりました。団体戦に関しては残念な結果となったものの、個人戦に関しては日頃の練習の成果が如実に表れた大会となりました。

3年生が引退した現在、1、2年生合わせて6人という少人数での活動となっておりますが、みな着実に実力をつけてきており、秋季大会では全道大会出場クラスの選手が2名も出ました。今後も、皆で協力し合いながら目標に向かって突き進むことにより、技術面のみならず、人間的にも成長できるように、精力的に活動して参ります。



●女子硬式テニス部

昨年度は3年生4名、2年生2名、1年生6名でしたが、今年度の女子テニス部は3年生2名、2年生6名、1年生6名とな

り、少し賑やかになりました。更に、テニス経験者が複数入部するようになって、良い戦績も出せるようになりました。

昨年度は春季大会で団体戦準優勝、個人戦では複で町谷・木原組準優勝、単で町谷が第3位の成績を収めました。続く高体連支部大会では団体戦3位、個人戦複で町谷・木原組第3位、単でも町谷が3位となって全道大会進出を果たしました。団体戦での全道進出は7年ぶりです。団体戦は苫小牧東高と対戦して複1、単2全てに勝利し、初戦突破を果たしました。全道高体連での団体戦勝利は2000年以来、21年ぶりであり、歴史的な勝利となりました。2回戦では第1シードの札幌光星高校と対戦して完敗を喫し、個人戦でも緒戦から強豪との対戦となって全廃を喫しましたが、以後の練習に向けて良いモチベーションとなりました。

団体戦のみの夏季大会では準優勝でしたが、支部秋季大会においては団体戦、個人戦単複の全てで優勝を飾り、町谷は3冠王となりました。その勢いで全道大会に出場したものの、団体戦は初戦で準優勝の札幌光星とまたしても対戦、1-4で敗れはしましたが、個人戦では町谷が単で、町谷・木原組が複でそれぞれベスト16に進出することができました。これらと前後して、町谷は旭川の殆どの大会で優勝するようになり、他の生徒も彼女に劣らず優秀な成績を残すことができました。

今年度も春季大会で町谷は3冠王となり、高体連では3大会連続3冠王を目指しました。プレッシャーからか惜しくも優勝は団体のみとなったものの、高体連全道大会では昨年以上の成績を残すことができました。団体戦は強豪帯広南商業相手にS2筒井が驚異の粘りで逆転勝利を収めて2大会連続初戦突破、2回戦は昨秋と同じく準優勝の立命館慶祥に完敗を喫しました。個人戦単では町谷、手塚が共に初戦を突破し、複では木原・筒井組が初戦敗退したものの、町谷・手塚組がベスト16に進出と、近年で

は久々の好成績を収めることができました。町谷はその後、国体北海道予選、北海道ジュニアテニス選手権の両全道大会で単ベスト8進出という自己最高の戦績を収めます。特に後者ではあと一勝で全国大会出場でした。

現在、3年生は引退しましたが、チームとして成長は続けています。夏季大会で優勝、秋季大会でも団体戦優勝、個人戦複では手塚・野田組が優勝、筒井・野村組が第3位、個人戦単では手塚準優勝、筒井が第3位となりました。今年度から秋季全道大会は団体戦のみとなりましたが、来る10月の大会に向けて一勝でも多くできるように生徒は今、見学旅行を目前に控えながら練習に励んでいます。

まもなくテニス部は外での活動ができなくなり、屋内の活動が中心になります。冬期間の練習を充実させ、心身を鍛えることで来春、より良いテニスと高校生活を送ることができるよう、生徒諸君の指導を行っていきたくと考えています。

●男子バレーボール部

今年度のチームは3年生選手が4人ということで2年生が主体のチームでやってきました。コロナウィルスの影響で練習試合や合宿、大会がほとんどなかったことなどで、自分たちの目標を見失うこともありましたが、1つの大会が終わる度にしっかりと反省して何が足りなかったのか、何が良かったか全体で共有して練習を行ってきました。

高体連支部大会では、初戦旭川藤星高校に勝利し決勝トーナメントに残るも、留萌高校に敗北して惜しくもベスト4に残ることが出来ませんでした。

これまで支えてくれた保護者の方々、先生方、チームメイトの皆さん、ありがとうございました。

【大会結果】
◇第18回旭川支部バレーボール春季大会 中止

◇北海道高等学校総合体育大会バレーボール競技大会 旭川支部予選会(5月25日〜27日) 予選R 旭川藤星 2-0 勝利
決勝T 留萌 0-2 負け

◇旭川協会会長杯争奪高校バレーボール大会(9月4日 第3位)

1回戦 旭川西 2-1 勝利
2回戦 旭川実業 0-2 負け
3位決定戦

旭川明成 2-0 勝利 第3位
旭川西 2-1
旭川工業 0-2 負け
旭川実業 0-2 負け
旭川東 0-2 負け

予選T 旭川西 2-1
決勝R 旭川工業 0-2 負け
旭川実業 0-2 負け

◇第75回全日本バレーボール高等学校選手権大会北海道予選会旭川地区競技会(9月18日〜19日 第4位)

●女子バレーボール部

旭川北高校女子バレーボール部は、選手26名、マネージャー3名で活動しています。今年度も感染症の影響が残る中、できる範囲で最大限やる「限られた時間を大切に」「メンバーを大事にする」ことを心がけてきました。個々の選手のがんばりをチーム力の成長につなげてきました。「私立を倒すのはウチらだ！」そして全道大会出場！をチーム目標に掲げてきましたが、令和4年1月に実施された北海道バレーボール新人大会旭川地区予選会では、私立高校を倒し準優勝。昭和58年以来38年ぶりの全道大会出場権を獲得しました。しかし2月に小樽で開催される予定だった全道大会は感染症蔓延のため中止とな



り、全道大会のコートに立つことはできませんでした。ただ、自分らの手で全道大会出場権を獲得したことは事実。そのことに自信と誇りを持ち活動を続けています。また、ここまで成長できたのは、練習試合や合宿で切磋琢磨した、全道のライバルチームの存在のおかげだと思っています。感謝と自信を胸に、もう一度全道大会を目指し頑張ります。これからも応援よろしくお願いたします。

【大会結果】

◇旭川支部バレーボール春季大会

(令和3年4月24日)

・1回戦
旭川北 2 (25 | 9) 旭川永嶺
2回戦

旭川北 2 (25 | 20) 旭川西
(25 | 19) (22 | 25)

※感染症対策のため2日目中止 第4位

(第4シード権獲得)

◇北海道高等学校総合体育大会バレーボール競技大会旭川支部予選会(令和3年5月19日)

・予選グループ戦 第1試合

旭川北 2 (25 | 10) 旭川南
(25 | 20)

・決勝トーナメント 2回戦

旭川北 2 (25 | 14) 旭川西
(25 | 19)

・決勝リーグ 第1試合

旭川北 0 (12 | 13) 旭川実業
(25 | 25)

・決勝リーグ 第2試合

旭川北 0 (15 | 18) 旭川大学高
(25 | 25)

・決勝リーグ 第3試合

旭川北 0 (7 | 21) 旭川明成
(25 | 25)

※第4位(第4シード権獲得)

◇旭川協会長杯争奪高校バレーボール大会

※感染症蔓延のため中止

◇全日本バレーボール高等学校選手権大会北海道予選会旭川地区競技会(令和3年9月25日)

・1回戦

旭川北 2 (25 | 12) 旭川永嶺
(25 | 17)

・決勝リーグ 第1試合

旭川北 0 (9 | 11) 旭川明成
(25 | 25)

・決勝リーグ 第2試合

旭川北 0 (17 | 16) 旭川龍谷
(25 | 25)

・決勝リーグ 第3試合

旭川北 1 (18 | 24) 旭川商業
(25 | 19) (25 | 26)

※第4位(第4シード権獲得)

◇旭川支部バレーボール冬季大会

※感染症蔓延のため中止

◇北海道高等学校バレーボール新人大会

旭川地区予選会(令和4年1月15日)

旭川北 2 (25 | 20) 旭川西
(25 | 15) (11 | 25)

・決勝リーグ 第1試合

旭川北 0 (22 | 24) 旭川龍谷
(25 | 26)

・決勝リーグ 第2試合

旭川北 2 (25 | 20) 旭川明成
(25 | 14) (18 | 25)

・決勝リーグ 第3試合

旭川北 2 (25 | 27) 旭川商業
(25 | 13) (13 | 25)

※準優勝(第2シード権獲得)

昭和58年以来38年ぶり全道大会出場権獲得

◇北海道高等学校バレーボール新人大会(小樽市)

※感染症蔓延のため中止

◇旭川支部バレーボール春季大会

※感染症蔓延のため中止

◇北海道高等学校総合体育大会バレーボール競技大会旭川支部予選会(令和4年5月25日)

・予選グループ戦 第1試合

旭川北 2 (25 | 16) 留萌
(25 | 19) (25 | 20)

・決勝トーナメント 2回戦

旭川北 2 (25 | 25) 旭川商業
(25 | 16) (27 | 20)

・決勝リーグ 第1試合

旭川北 0 (8 | 4) 旭川大学高
(25 | 25)

・決勝リーグ 第2試合

旭川北 0 (15 | 12) 旭川実業
(25 | 25)

・決勝リーグ 第3試合

旭川北 0 (23 | 13) 旭川龍谷
(25 | 25)

※第4位(第4シード権獲得)

◇旭川協会長杯争奪高校バレーボール大会

(令和4年8月27日)

・1回戦

旭川北 2 (25 | 25) 旭川東
(25 | 16) (21 | 21)

・2回戦

旭川北 0 (21 | 19) 旭川明成
(25 | 25)

・3位決定戦

旭川北 1 (24 | 28) 旭川商業
(26 | 29) (25 | 21)

※第4位(第4シード権獲得)

◇全日本バレーボール高等学校選手権大会北海道予選会旭川地区競技会(令和4年9月18日)

・1回戦

旭川北 1 (22 | 25) 旭川永嶺
(25 | 23) (19 | 25)

●サッカー部

令和4年度はサッカー部は顧問の安藤先生、木下先生とともに3年生10人、2年生14人、1年生17人、マネージャー4人の計45人で活動しています。現在北高は進学校で唯一道北ブロックリーグ1部に所属しています。私たちが、このカテゴリーで戦えるのは先輩達の努力のおかげです。私たちが1部残留を達成し、後輩達にたすきを繋ぎたいと思います。この場を借りて先輩達にお伝えしたいことがあります。令和4年度の選手権でサッカー部は南高との代表決定戦を12人目まで



もつれ込むPK合戦で制し、30年ぶり5回目となる全道大会進出を決めました。昨年の高体連でも10年ぶりの全道大会を経験しましたが、1回戦で函館大谷と対戦し、1対2で惜敗しました。今年こそは全道大会で1勝し、皆さんに良いニュースをお届けしたいと思えます。今後とも応援よろしくお願ひします。

【令和3年度 大会結果】

◇高体連旭川地区予選

1回戦 農業 4-0-0

2回戦 旭大 0-0-0 PK 4-2

3回戦 南 1-0-0

決勝 実業 0-2 (準優勝で全道大会進出)

◇高体連北海道予選

1回戦 函館大谷 1-2

◇選手権旭川地区予選

1回戦 西 3-2

2回戦 東 1-0

3回戦 旭大 0-1

◇道北ブロックリーグ1部(全14節)

4勝2分8敗 7位(8チーム中)プレーオフを経て残留

◇フットサル旭川地区予選

1勝1分1敗で予選リーグ敗退

【令和4年度 大会結果】

◇高体連旭川地区予選

1回戦 高専 0-1

◇選手権旭川地区予選

1回戦 留萌 4-0

2回戦 永嶺 1-0

3回戦 南 1-1 PK 12-11

決勝 旭大 0-3 (準優勝で全道大会進出)

◇道北ブロックリーグ1部(全14節)

5勝4分5敗 4位(8チーム中)で残留

●卓球部

卓球部は、男子9名、女子6名の計15名で活動しています。3年生が引退した後、これまでの先輩方の実績を引き継ぎながら、

自分たちの手で新たな歴史を作ろうと、日々全力で練習に取り組んでいます。男女での団体全道大会出場をはじめとして、各種大会で充実した結果を残すことができるよう、日々の練習を怠らず、部員同士で協力して活動に取り組みしていきます。



全道大会や全国大会に出場する機会が増える中で、北高卓球部OBの方々から、激励のメッセージをいただいています。ありがとうございました。たくさんの方々から応援とご支援・ご指導をいただいていることを忘れず、今後の部活動に向き合っていきたいと思えます。これからも応援をよろしくお願ひします。

【大会結果】

◇皇后杯 2022年度全日本卓球選手権大会(東京都)

ジュニア女子シングルス

清杉 1回戦敗退

◇令和3年度 高体連 地区大会

女子団体 優勝

男子団体 第2位

女子ダブルス 清杉・西村組 第2位

男子ダブルス 浦崎・徳島組 第3位

女子シングルス 清杉 第2位、

男子ダブルス 浦崎・徳島組 第3位

◇令和3年度 高体連 全道大会(釧路市)

女子団体 ベスト8

男子団体 1回戦敗退

男子ダブルス 浦崎・徳島組 ベスト16

女子ダブルス 清杉・西村組 1回戦敗退

女子シングルス 清杉、西村 3回戦進出

◇令和3年度 選抜大会(新人戦)地区大会

女子団体 優勝

男子団体 第3位

男子ダブルス 徳島・青山組 準優勝、

成田・石山組 ベスト8

女子ダブルス 清杉・西村組 準優勝、

鈴木・藤野組 第5位、

畑山・宮田組 ベスト8

男子シングルス(スーパードル) 青山 ベスト8

女子シングルス(スーパードル) 清杉 準優勝、

西村 ベスト4、

宮田 ベスト8

◇令和3年度 選抜大会全道大会(小樽市)

男子団体 ベスト8

女子団体 ベスト8

男子ダブルス 徳島・青山組 ベスト16

女子ダブルス 清杉・西村組 ベスト16

鈴木・藤野組 2回戦進出

◇令和3年度 選手権全道大会(函館市)

ジュニア女子シングルス

清杉 第5位(全道大会出場)、

西村 1回戦敗退

ジュニア男子シングルス

徳島 3回戦進出

一般女子シングルス

清杉 3回戦進出、

西村 2回戦進出

一般男子シングルス

徳島 1回戦敗退

女子ダブルス

清杉・西村組 2回戦進出

◇令和3年度 国民体育大会北海道予選会(北広島市)

清杉 女子シングルス

予選Aブロック 準決勝進出

西村 女子シングルス

予選Dブロック 3回戦進出

徳島 男子シングルス

予選Bブロック 3回戦進出

◇令和4年度 高体連 地区大会

女子団体 優勝

男子団体 第3位

女子ダブルス 清杉・西村組 優勝、

畑山・宮田組 第3位

男子ダブルス 徳島・青山組 優勝

女子シングルス 清杉 準優勝、

谷島 第3位、

西村 第5位

男子シングルス 徳島 準優勝、

成田 第5位

◇令和4年度 高体連 全道大会

女子団体 ベスト8

女子ダブルス 清杉・西村組 ベスト8、

畑山・宮田組 1回戦敗退

男子ダブルス 徳島・青山組 ベスト16

女子シングルス 清杉、西村 2回戦進出

谷島 1回戦敗退

男子シングルス 徳島 3回戦進出、

成田 1回戦敗退

●バドミントン部

バドミントン部は男子15人、女子6人の計21人で活動をしています。男女ともに仲が良く、どんな辛い練習でも協力し、毎日明るく練習に取り組んでいます。昨年度は全道大会出場に繋がる活躍ができませんでした。今年度の高体連では、男子団体で4位、女子は初戦敗退と、悔しい思いをする大会となりました。ただ、北海道選手権(全道大会)で女子ダブルスがベスト8となり、会長杯では男子シングルスでベスト8に入る活躍を見せ、今後の飛躍に期待したいところです。

旧体育館が使用できなくなったことに加え、コロナ禍で練習や体育館割が激減しましたが、顧問の先生をはじめ、OBOG、大学生、社会人の方々の応援・ご支援・ご指導をいただきながら活動させてもらっています。今後も周囲の協力があって我々の活動があることに感謝し、先輩方が残してくれた伝統や文化を残しつつ、自分たちに何ができるかをみんなで模索し、「文武両道」「凡事徹底を目指して多くの人に恩返しできるような努力します。

【主な大会結果】

高体連支部大会および各種大会

◇国民体育大会旭川予選

コロナ感染拡大の観点から出場辞退

◇高体連旭川地区予選

男子団体 4位

女子単 獅子原 ベスト8

◇北海道バドミントン選手権旭川地区予選

女子単 野原 ベスト16

◇北海道バドミントン選手権大会(旭川市)

女子複 阿部・菅野 ベスト8

◇会長杯

男子単 獅子原 ベスト8

女子単 阿部、野原 ベスト16

女子複 阿部・菅野 7位

●ソフトボール部

私たちソフトボール部は、「全道ベスト4」を目標に顧問の小野崎先生、本田先生をはじめ、たくさんの方々に支えられながら、日々楽しく一生懸命活動しています。夏は合宿や遠征で練習試合をして経験を積み、冬は個々の技術を上げるために、階段ダッシュや羽打ちをしています。

コロナ禍の影響で活動も自粛され、実践練習でも限られたプレーしか出来ていません。そんな中でも、今年の高体連では3年生を中心に準備を鍛えて、旭川商業に13対9で勝利し大会4連覇をすることが出来、旭川北高ソフトボール部の新たな1ページに足跡を残すことができました。

新チームでも、先輩方から教わったことを大事にし、新人戦で旭川商業に勝って、また、全道大会に行けるように、感謝の気持ちをお忘れずに日々の練習を頑張っていきたいと思っています。どうかこれからも応援をよろしくお願いします。

【大会結果】

◇令和2年度 高体連代替大会

旭川北 11-3 旭川商業

選抜新人大会

旭川北 28-5 旭川商業(大会4連覇)

選抜全道大会

旭川北 0-18 とわの森三愛高校

◇令和3年度 高体連旭川地区予選

旭川北 10-0 旭川商業(大会3連覇)

高体連全道大会

旭川北 6-2 札幌北斗高校

旭川北 0-9 帯広南商業(ベスト8)

選抜全道大会

旭川北 0-15 とわの森三愛高校

◇令和4年度 高体連旭川地区予選

旭川北 13-9 旭川商業(大会4連覇)

高体連全道大会

旭川北 2-8 遠軽高校

選抜全道大会

旭川北・商業 9-8 岩見沢緑陵・農業

旭川北・商業 2-13 札幌東商業(ベスト8)

●応援団&チアリーディング部

北高応援団は、男子の応援団と女子のチアリーディング部で構成されています。応援団は少林寺拳法部の部員が兼部しており、少林寺拳法の動きのキレを生かして、学校全体を常に引っ張ってくれています。最近男子だけではなく、女子部員も学ランを着て応援に参加し、盛り上げてくれています。

チアリーディング部は、野球の全校応援等のほかにも、地域のイベントに参加させてもらい、多くの人を元気づけ明るい気持ちになってもらえることを目標に、日々練習しています。今年度は3年ぶりに開催された北海道音楽大行進や、買い物公園でのイベント、旭川市内や名寄の商業施設でのイベントにも参加させてもらいました。10月16日にはスタルヒン球場で開催された「旭川100フェス」にも声をかけていただき、ファイターズガールと一緒にパフォーマンスを披露しました。

私たちの魅力はとびきりの笑顔と、息の合ったパフォーマンスです。そのために一人一人が真剣に練習に取り組むのももちろん、学年の違い関係なく提案や指摘をしあ

い、全員で一つのものを作りあげるという意識を持って活動しています。今年度は様々なイベントに呼んでいただいて、地域の方々の繋がりが生まれてことで、さらにやる気を高めることができました。よりレベルアップしたパフォーマンスができるように、これからも継続して頑張っていきたいと思います。私たちは北高応援団として、頑張る人たちの力になれるよう、また笑顔で格好いい私たちがいられるように、常に全力で活動していきます。

●男子バスケットボール部

今年度は3年生5名、2年生7名、1年生8名とマネージャー3名の23名で活動しています。今年には人数も多く、練習も活気づいています。数年ぶりに高体連の全道大会に出場し、全道初勝利と全道ベスト8に残る成績を残すことができ、部員一同大変喜んでいます。

新チームも活躍が十分期待できる状況です。再び全道大会出場を目指し頑張ってください。再び全道大会出場を目指し頑張ってください。再び全道大会出場を目指し頑張ってください。

【令和3年度 大会結果】

◇旭川地区春季大会

1回戦 旭川北80-57旭川南

2回戦 旭川北59-58旭川龍谷

◇高体連旭川支部予選

1回戦 旭川北11-46美瑛

2回戦 旭川北58-72旭川龍谷

2回戦敗退

◇U-18旭川カップ

1回戦 旭川北80-63旭川南

2回戦 旭川北62-83旭川大学

敗者戦 旭川北69-64旭川永嶺

2回戦敗退

◇選手権旭川予選

1回戦 旭川北96-37旭川明成

2回戦 旭川北100-65旭川西

準決勝 旭川北64-87旭川工業 3位

◇旭川支部秋季大会

1回戦 旭川北73-44旭川永嶺

2回戦 旭川北36-102旭川西

準決勝 旭川北62-77旭川工業

3位決定戦 旭川北74-99旭川龍谷 4位

◇新人大会旭川予選

2回戦 旭川北89-53旭川東

準決勝 旭川北46-86旭川大学

3位決定戦 旭川北65-78旭川龍谷 4位

【令和4年度 大会結果】

◇旭川地区春季大会

1回戦 旭川北98-58旭川東

◇高体連旭川支部予選

1回戦 旭川北80-42旭川農業

2回戦 旭川北79-28留萌

決勝リーグ 旭川北66-77旭川大学

旭川北68-95旭川工業

旭川北93-45旭川西 3位

◇高体連北海道予選

1回戦 旭川北83-77札幌清田

2回戦 旭川北74-51釧路江南

3回戦 旭川北31-141白樺学園

ベスト8

◇U-18旭川カップ

1回戦 旭川北81-53旭川東

2回戦 旭川北78-47旭川南

準決勝 旭川北71-72旭川大学

3位決定戦 旭川北52-102旭川工業 4位

◇選手権旭川予選

1回戦 旭川北74-69旭川永嶺

2回戦 旭川北74-69旭川南 3位

●女子バスケットボール部

今年度は3年生4名、2年生4名、1年生2名の10名で活動しています。旧体育館が使えなくなったことや新型コロナウイルスの影響などにより活動が制約されていますが、旭川支部ベスト4入りを目標に日々練習に励んでいます。人数が少なく、チーム内ではゲーム形式の練習がしにくい状況ですが、

他校との練習ゲームや男子部との合同練習

習を通して自分たちの課題を見つけ、その後の練習で克服できるよう努力しています。昨年度からはユニフォームを一新し、高体連では3年生が練習の成果を出し切る事ができました。

◆令和3年度 大会結果
旭川地区春季バスケットボール大会
1回戦旭川北60―41 旭川永嶺
2回戦旭川北36―130 旭川藤星

◆令和4年度 大会結果
旭川地区春季バスケットボール大会
1回戦旭川北83―38 東川
2回戦以降中止

◆令和3年度 大会結果
旭川地区春季バスケットボール大会
1回戦旭川北76―40 旭川東
2回戦旭川北42―84 旭川明成
U-18旭川カップ
1回戦旭川北94―40 東川
2回戦旭川北37―94 旭川明成
敗者戦旭川北63―82 旭川商業

◆令和4年度 大会結果
旭川地区春季バスケットボール大会
1回戦旭川北83―38 東川
2回戦以降中止

◆令和3年度 大会結果
旭川地区春季バスケットボール大会
1回戦旭川北76―40 旭川東
2回戦旭川北42―84 旭川明成
U-18旭川カップ
1回戦旭川北94―40 東川
2回戦旭川北37―94 旭川明成
敗者戦旭川北63―82 旭川商業

◆令和4年度 大会結果
旭川地区春季バスケットボール大会
1回戦旭川北83―38 東川
2回戦以降中止

◆令和3年度 大会結果
旭川地区春季バスケットボール大会
1回戦旭川北76―40 旭川東
2回戦旭川北42―84 旭川明成
U-18旭川カップ
1回戦旭川北94―40 東川
2回戦旭川北37―94 旭川明成
敗者戦旭川北63―82 旭川商業

◆令和4年度 大会結果
旭川地区春季バスケットボール大会
1回戦旭川北83―38 東川
2回戦以降中止

◆令和3年度 大会結果
旭川地区春季バスケットボール大会
1回戦旭川北76―40 旭川東
2回戦旭川北42―84 旭川明成
U-18旭川カップ
1回戦旭川北94―40 東川
2回戦旭川北37―94 旭川明成
敗者戦旭川北63―82 旭川商業

◆令和4年度 大会結果
旭川地区春季バスケットボール大会
1回戦旭川北83―38 東川
2回戦以降中止

●山岳部

2年キャプテン 山口創大

山岳部は現在、男子16人、女子8人で活動しています。基本は平日の3日間にランニング等のトレーニング、休日に1、2日ほど登山をしています。



山口創大

今年度は新入部員が17人も入り、一度に全員を山に連れて行くことが難しく、日

を分けて山に登ることも何度がありました。大会はコロナ禍で多少制限が求められることもありましたが、地区大会、全道大会、秋季大会に加え、今年度始まった選抜大会を行うことができました。

来年はインターハイが北海道であるので、インターハイ出場を目指してこれからも日々楽しく頑張っていきたいと思います。

3年サブリーダー 堤 景

昨年は初めてのインターハイ出場権を獲得し、福井県の取立山、こつぶり山、三頭山に登ってきました。この大会はコロナウイルスの影響で、開催されたのが夏休み明けすぐでした。また、大会が終わると先輩は卒部ということで寂しさや色々な不安、本番でのハプニングなどありましたが、メンバー4人で協力しながらとても思い出に

残る楽しい大会になりました。

【大会結果】

高体連全道登山大会

男子 参加
女子 3位

●少林寺拳法部

今年度は男子4名・女子20名の計24名で活動しています。道内のどの高校も女子の加入率が高く、男子の加入率の低さが悩みの種となっています。北高でも例外ではなく、男子の加入率が年々下がっており、何とか男子の加入者数を上げていきたいと思っています。

さて、コロナが広がって3年、今年も少なからずその影響があったのですが、今年度も北高少林寺拳法部は大活躍してくれました。昨年12月に新人戦全道大会に出場した1年次の納が、男子規定単独演武に出場し準優勝になり、3月に香川県で開催された全道大会出場しました。また、令和4年度の高体連では、女子団体の部で3位入賞、男子組演武で準優勝し、このうち、男子組演武出場した森口一喜・平山蒼汰組が7月29日から高知県春野運動公園で行われたインターハイに出場することができました。久しぶりのインターハイ出場を果たしてくれ、大いに部活動を盛り立ててくれました。

夏の高体連全道大会をもって、室田主将から畠山主将に移行しました。今後のさらなる旭川北高校少林寺拳法部の活躍を期待して下さい。

【令和2年度 大会結果】
新人戦全道大会(3月27日、29日)
香川県普通寺市民体育館
規定単独演武 室田① 出場

【令和3年度 大会結果】
高体連全道大会(6月13日)
札幌北陵高等学校
ビデオ審査に変更

【令和4年度 大会結果】
高体連全道大会(7月29、31日)
高知県立春野運動公園 体育館
(男子) 自由組演武 森口③・平山③

【令和3年度 大会結果】
高体連全道大会(6月13日)
札幌北陵高等学校
ビデオ審査に変更

【令和4年度 大会結果】
高体連全道大会(7月29、31日)
高知県立春野運動公園 体育館
(男子) 自由組演武 森口③・平山③

(男子)団体演武 安田③・保格③・大田原③・高堰③・森口②・平山②

単独組演武 安田③・大田原③ 5位

(女子)団体演武・組演武・単独演武 出場

新人戦全道大会(12月19日) 旭川南高等学校 体育館

(男子) 団体演武 森口②・平山②・間藤②・納①・佐藤① 出場

自由組演武 森口②・間藤② 3位

規定単独演武 納① 2位

(女子)団体演武 室田②・小田②・武田②・上野②・山川②・金箱② 出場

規定単独演武 畠山① 3位

新人戦全道大会(3月26日、29日) 香川県普通寺市民体育館

規定単独演武 納① 出場

【令和4年度 大会結果】
高体連全道大会(6月11、12日)
北海学園札幌高等学校体育館

(男子)自由組演武 森口③・平山③

(女子)団体演武 室田③・小田③・山川③・金箱③・上野③・武田②

単独演武 室田③ 6位

高体連全道大会(7月29、31日)
高知県立春野運動公園 体育館
(男子) 自由組演武 森口③・平山③

●剣道部

現在剣道部は新入生七名を加えて男子八名、女子九名、計十七名で活動しています。少ない部員ですが先輩たちが築いてきた伝統を受け継ぎ、「全道優勝」を目標に「人間形成」を目的に日々練習に励んでいます。部活動、学校生活、私生活、すべてが繋がりを成長させることができるような指

導を目指しています。勉強と部活動は支え合うのではなく、それぞれ強くなる道は同じである。生徒には、切りかえをしつかりして高校生活を充実させて欲しいと思っています。

昨年度からは無観客ではありませんでしたが徐々に大会が行われました。令和三年度の高体連支部大会では十八年ぶりとなる女子団体優勝を果たすことができ、令和四年度は二連覇を達成することができました。また、高体連全道大会においても令和3・4年度女子団体五位、敢闘賞、優秀選手賞をいただくことができました。

現在もコロナの影響で日常の活動が制限されていますが、大会が開催されることに感謝し、自分たちがやってきたことをこれからの大会でも堂々と表現できるように頑張っていきたいと思えます。

日頃から北高の活動を支えてくださっている方々にこの場を借りてお礼申し上げます。これからもご支援、ご声援のほど、よろしく願います。

【令和3年度 大会結果】

- ◇高体連全道大会
 - ・女子団体五位(敢闘賞)
 - ・女子個人優秀選手 森崎真結子(三年)
- ◇全道新人大会
 - ・男子団体出場
 - ・女子団体五位

【令和4年度 大会結果】

- ◇春季大会
 - ・男子団体二位
 - ・女子団体優勝
- ◇高体連旭川支部大会
 - ・女子団体優勝(二連覇)
 - ・男子個人三位小坂翔太(三年)
 - ・女子個人二位田中来美(三年)
- ◇四位江口莉都(三年)
- ◇高体連全道大会
 - ・女子団体五位(敢闘賞)
 - ・女子個人五位江口莉都(優秀選手)

●陸上競技部

陸上競技部は男子18名、女子14名、マネージャー14名の計36名で活動しています。

今年度は、高体連では15名の選手が、新人戦では19名の選手が、全道大会出場権を獲得することができました。そのうち高体連では1名の選手が徳島インターハイへ進出し、新人戦では3名の選手が入賞しています。全道高校駅伝では男子は合同チームで4名の選手が、女子は短距離・跳躍選手を含む5名の選手が襷を繋ぎ、貴重な経験をすることができました。



今年度から部員が30名を超え、より一人ひとりが熱い気持ちで、切磋琢磨しながら部活動に励んでいます。私たちは、自分たちで練習メニューを立て、選手としても人としてレベルアップできるように活動を目標としています。

来年度は北海道でインターハイが行われるということで、1人でも多くの選手が北海道インターハイへと駒を進めることが出来るよう、これからも指導してくれる方や両親、たくさんの方の支えて下さる方や応援してくださる方への感謝を忘れずに、お互いを高めあって練習を積んでいきます。これからも旭川北高校陸上競技部の応援をよろしく願います。

【令和3年度 成績】

- ◇第74回北海道高等学校陸上競技選手権大会
 - 村上 翔梧(3年) 男子走幅跳 予選敗退
 - 高橋 理沙(3年) 女子1000m H 予選敗退
- 藤原 虎太郎(2年) 男子110m H D Q 予選敗退
- 男子走高跳 決勝第8位

遠藤 優太(1年) 男子5000m 予選敗退

男子3000m S C

北川 逢佑(1年) 男子5000m W D N F 予選敗退

緊急事態宣言延長に伴い中止

◇第74回北海道高等学校駅伝競走大会

男子 1区遠藤 優太(1年)

2区荒木 那朗(1年)

3区高橋 翔琉(1年)

4区坂口 海渡(2年)

5区大友 颯人(2年)

6区藤原 虎太郎(2年)

7区北川 逢佑(1年) 第18位

1区相川 瑠南(2年)

2区玉木 里奈(1年)

3区松井 心(1年)

4区荒川 菜桜(1年)

5区中山 早姫(1年) 第19位

【令和4年度 成績】

◇第75回北海道高等学校陸上競技選手権大会

藤原 虎太郎(3年) 男子110m H D N S 決勝第6位

相川 瑠南(3年) 女子400m H 予選敗退

遠藤 優太(2年) 男子1500m 決勝16位

男子5000m 決勝15位

男子3000m S C

北川 逢佑(2年) 男子5000m 予選敗退

男子3000m S C

高橋 翔琉(2年) 男子1500m 予選敗退

男子5000m 予選敗退

藤田 開成(2年) 男子走幅跳 予選敗退

男子三段跳 予選敗退

松井 心(2年) 女子走高跳 予選敗退

女子4×100m R 予選敗退

1走坂谷内 遥香(2年)

2走荒川 菜桜(2年)

3走相川 瑠南(3年)

4走三好 笑子(2年)

女子4×400m R 予選敗退

1走相川 瑠南(3年)

2走中山 早姫(2年)

3走荒川 菜桜(2年)

4走三好 笑子(2年)

◇第75回全国高等学校陸上競技対校選手権大会

藤原 虎太郎(3年) 男子走高跳 予選敗退

◇第38回北海道高等学校陸上競技大会

遠藤 優太(2年) 男子1500m 決勝8位

男子3000m S C

高橋 翔琉(2年) 男子800m 予選敗退

男子1500m 決勝16位

藤田 開成(2年) 男子走幅跳 予選敗退

男子三段跳 予選敗退

荒川 菜桜(2年) 女子走幅跳 予選敗退

女子三段跳 決勝21位

中山 早姫(2年) 女子800m 決勝7位

女子1500m 決勝DN S

玉木 里奈(2年) 女子3000m 決勝DN S

松井 心(2年) 女子走高跳 決勝4位

岩戸 結華(1年) 女子1500m 決勝10位

女子3000m 決勝10位

男子4×400m R 決勝21位

1走大友 颯人(2年)

2走藤田 開成(2年)

3走高橋 翔琉(2年)

4走遠藤 優太(2年)

1走坂谷内 遥香(2年)

2走中山 早姫(2年)

3走荒川 菜桜(2年)

4走三好 笑子(2年)

●アーチェリー部

アーチェリー部は3年生9名、2年生12名、1年生14名の計35名で活動しています。

2022年春季全道大会では、念願の男女団体優勝、さらに男女個人優勝を果たしました。我が部の春季全道大会での男女団体同時優勝は、実に1999年以来となります。また秋季全道大会でも苦戦はしましたが男女ともに団体2連覇を果たしました。コロナ禍で他校が大きく部員を減らした中、我が部は安定的に入部者がいたことが好成績を残せた大きな要因のひとつですが、一方で部員数が増えたために十分な練習場所が確保できないことが、悩みの種になっています。

来年は北海道インターハイの年です。30数年ぶりの北海道開催となりますが、好結果を残せるよう、部員一同精進して行きたいと思っています。どうか応援よろしくをお願いします。

【令和3年度 成績】

◇秋季全道大会(9月、キロロ)

男子団体優勝(松原、高村、菊地、増田)
女子団体優勝(高橋璃、高橋亜、深作、中田)

男子個人 ②増田 ③高村 ④松原
⑥菊地

女子個人 ②高橋璃 ④高橋亜 ⑥深作

【令和4年度 成績】

◇春季全道大会(6月、帯広の森)

男子団体優勝(松原、高村、菊地、増田)
女子団体優勝(高橋璃、高橋亜、鈴木、加藤)

男子個人 ①松原 ③菊地 ④高村
⑤増田

女子個人 ①鈴木 ⑤加藤 ⑥高橋璃
⑧佐藤莉

◇インターハイ(8月、香川県丸亀市)

男子団体24位(松原、高村、菊地、増田)
女子団体17位(高橋璃、高橋亜、鈴木、加藤)

男子個人 高村42位
菊地105位

女子個人 松原139位
鈴木13位

高橋璃66位
加藤152位

◇秋季全道大会(9月、帯広の森)

男子団体優勝(高橋、渡邊、田中)
女子団体優勝(鈴木、加藤、佐藤莉、佐藤な)

男子個人 ②高橋 ③渡邊 ⑧田中
女子個人 ①鈴木 ⑥佐藤な ⑦加藤
⑧近藤

◇国民体育大会(10月、栃木県烏山市)

女子 鈴木・佐藤莉(出場予定)

●囲碁部



現在、男子11名、女子3名で元気に活動しています。一昨年に、東大阪市で行われた全国高等学校囲碁選抜大会に、個人の部(19路盤)の北海道代表として参加し、ベスト16という結果を残しました。その後は検討及ばず顕著な成績は残せない状況です。しかし地道に活動を続けながら力をつけています。

【令和3年度 大会成績】

◇全道高等学校囲碁選手権大会

個人戦 11位 中西

13位 山本

◇全道高等学校将棋選手権大会

個人戦 24位 田宮
35位 舟木
51位 中西

◇令和4年度 大会成績

◇全道高等学校将棋新人大会上川支部予選

団体 準優勝(山瀬・岩波・出村)

個人戦 8位 出村
9位 岩波
10位 大場
13位 山瀬
14位 根府
16位 高野

◇囲碁全道大会

出場予定

●吹奏楽部

吹奏楽部は現在、1年生16名、2年生17名、3年生18名の計51名で活動しています。コロナ禍によって、日々の活動もままならない状況が続いておりますが、少しずつ音楽活動も元に戻りつつあります。毎年卒部する3年生も音楽活動に励みつつ、進路実現をしっかりと果たしております。引き続き、学業との両立を図りながら、より良い音楽活動ができるように部員一丸となって努力していきたいと思っております。

【令和3年度の活動内容】

◇スプリングコンサート開催

◇北海道音楽大行進 中止

◇高文連上川支部音楽発表大会 発表部門参加

◇北海道吹奏楽コンクール旭川地区予選 高等学校 A編成の部 金賞

◇第45回定期演奏会 中止

◇北海道管楽器個人・アンサンブルコンテスト
サクソフォーン5重奏 金賞
金管8重奏 金賞
トランペット独奏 金賞

【令和4年度9月までの活動内容】

◇スプリングコンサート開催

◇北海道音楽大行進・アフターコンサート参加

◇高文連上川支部音楽発表大会発表部門参加

◇北海道吹奏楽コンクール旭川地区予選 A編成の部 金賞

◇第46回定期演奏会開催

(於：旭川市民文化会館大ホール)

◇イオンモール旭川西店コンサート開催

●写真部

私たち写真部は1年生1名2年生7名3年生3名の計11名で活動しています。普段の活動は校内や屋外での撮影会や撮った写真をみんなで講評し合います。写真甲子園や高文連各種フォトコンテストに向けて日々、撮影技術の向上やよりよい作品を作り励んでいます。年に何度かプロの写真家の方をお呼びし、アドバイスをいただいています。昨年からより楽しい部活になるように新しい活動に挑戦しています。これからも楽しく自分たちらしい部活動が行えるように写真部部員一同頑張っていきたいと思っております。

【成績・結果】

◇令和3年度高文連上川支部写真展

入選 中島和
奨励賞 笹岡瑛人

◇令和4年度高文連上川支部写真展

入選 村岡楓雅
奨励賞 藤田咲希

◇明治安田生命2021マイハピネスフォトコンテスト

佳作 笹岡瑛人
" 秋山心花
" 藤田咲希

増井明日風

◇鷹栖町インスタフォトコンテスト2021

ふるさと応援大使賞 増井明日風

すが、一人一人が自分の役割を見つけた時には意見を出し合いより良い活動になるように頑張っています。活動内容は次の通りです。コロナの影響で例年通りの活動が出来ませんでしたが、これからも私たちが出来る範囲で頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いたします。

【活動報告】

①美化活動

- ・ 校舎内の清掃
- ・ 学校敷地内および周辺のごみ拾い

②募金活動

- ・ ペットボトルキャップ・リングブルの回収
- ・ 赤い羽根共同募金活動の校内募金実施
- ・ 赤い羽根共同募金ボランティア
- ・ あしなが学生募金ボランティア
- ・ 地域との関わり
- ・ 雪だるまでお出迎え(旭川駅前)
- ・ 春光住民児童センターボランティア
- ・ 障害者スポーツ記録大会
- ・ 旭川市障害者週間記念事業参加

④大会参加

- ・ 高文連上川支部ボランティア研究大会
 - ・ 高文連全道ボランティア研究大会
 - ・ 旭川北ロータリークラブ例会
 - ・ 国際ロータリー第2500地区インターアクト地区大会
- (インターアクト地区大会は冊子制作により参加)

●文芸部

三月に五名の卒業生を送り出し、今年度新たに四名の新入部員を迎え入れ、三年生男子一名、二年生女子一名、一年生女子三名の合計五名で活動しています。

昨年度は高文連旭川支部研究会の当番校でしたが、新型コロナウイルスの影響で研究会は中止となり、全道研究会はWEB開催となりました。そんな中でもコンクールは行われ、支部では多数の作品が入選を果たしました。全道コンクールでは小説部門で最優秀賞、及び優秀賞二作品、詩部門

でも優秀賞を受賞しました。また、全国高等学校文芸コンクールでは、小説部門で優秀賞、短歌部門で優良賞を受賞しました。



今年度は、三年ぶりに支部研究会が開催されました。他校の生徒と活発な交流を行い、良い刺激を受けてきました。支部コンクールでは、短歌部門・俳句部門でそれぞれ優秀賞を獲得するなど多数の作品が入選し、全道・全国コンクールへ出品しました。

また、部誌「玉響」も健在で、先輩方の熱い想いを引き継ぎ、日々創作活動に励んでいます。

その他に、学校祭で写真部とコラボした展示を行ったり、新聞局の発行する学校新聞にリレー小説を掲載するなど、多彩な活動をしています。

最後に残念なお知らせがあります。文芸部は来年度から新入部員の募集を中止し、令和六年度末で廃部となります。北高の間口削減による教員数と生徒数の減少のためです。伝統を築いてきた先輩方には寂しい思いをさせてしまい申し訳ありませんが、残された期間を今まで以上に充実させていきたいと思えます。

●理科実験研究部

私たちの主な活動は、自分たちが疑問に思ったことを科学的に解き明かす研究活動とその成果を大会などで発信することです。

一昨年からモンシロチョウを研究対象にしました。本種が他のチョウが飛んでいない早朝や春先など気温の低い時に飛んでいるのは何故かという疑問から研究は始ま

りました。過去の論文を調べると、チョウは太陽の輻射熱を翅で吸収して体温を上げているというのが科学的な常識でした。

しかし、本種の翅は白色なので吸収に適さないはず。そこで、翅に人工光を照射したり、遮ったりして体温変化を測定しました。その結果、本種では翅が輻射熱を吸収して体温を上げていないことを証明できました。この研究は次の年も継続し、小型の太陽電池パネルをチョウの胴体の代わりにして翅の角度を変えて人工光を照射、発生する電流を測定し、光を最も良く集める翅の角度を求めました。このシミュレーション実験で求めた角度と野外で本種が止まって日光浴している時の翅を上げる角度を比較するとほとんど同じでした！このことから、本種は翅を反射板として太陽輻射を胴体を集めて体温を上げること、その翅の角度は集光に最適な角度であることを証明しました。これらの研究成果は2年連続で北海道代表に選ばれ、全国大会に出場でき、昨年の全国大会では最優秀賞をいただきました。さらに、つくば Science Edge という大会で日本代表に選ばれ、中高生の国際サイエンスアイデアコンテストに出場しました。この大会はアジア5カ国の中学生が研究した内容を発表します。もちろん、発表も審査員からの質問も英語です。この大会では各国代表9チーム中3位でした。

昨年からセミを研究対象としています。セミは種類により異なる環境と結びついてきます。そこで、私たちは環境を測る物差し(環境指標)としてセミの抜け殻を用い、その分布と環境との関係を調べています。

将来は、セミの抜け殻を「環境指標」として市内の環境を評価したいと考えています。もう一つの研究はセミの誕生日を予測する研究です。昆虫の孵化日は主に気温に影響されます。孵化に必要な温度と日数が判れば、孵化日が予想でき、害虫の防除や気候変動の指標として利用することもできます。これらの私たちの活動は学校HPに掲載

載していますので是非ご覧下さい。

【令和3年度大会等受賞結果】

- ◇第45回全国高等学校総合文化祭 研究発表(生物)部門 最優秀賞(全国1位)
- ◇中高生の国際サイエンスアイデアコンテスト
- Advanced部門 (アジア5カ国代表9チーム中3位)
- ◇日本学生科学賞北海道審査会 読売新聞社賞(全道2位)
- ◇高文連上川支部理科研究発表大会 総合賞
- ◇高文連全道理科研究発表大会 研究発表(生物部門) 総合賞
- ◇ポスター展示部門 優秀ポスター賞
- ◇持続可能な世界・北海道高校生コンテスト
- ◇環境学習フォーラム賞
- ◇旭川市教育奨励賞
- 【令和4年度大会等受賞結果】
- ◇高文連上川支部理科研究発表大会 総合賞1件、奨励賞1件

●放送局

私たち放送局は2年生3人、3年生1人の4人と顧問の鈴木証先生で活動しています。

放送局は毎日の生徒の呼び出し放送やお昼の放送のほか、北高祭をはじめとする学校行事の音響・撮影・ビデオ編集を行っています。北高祭は準備期間から本祭当日までやることも多く大変ですが、その分やりがいと達成感を感じられます。また校内の活動だけな



く、年に二度ある大会やまちなか学生映画祭などのイベントのほか、他の部のイベントでのお手伝いなど、幅広く活動しています。

今年度のNHK放送コンテスト上川地区大会では、アナウンス部門3位、テレビドラマ部門2位で全道大会に出場することができました。

今後も局員全員でベストを尽くし、さらに活躍できるよう頑張ります。

●音楽部

部長 青山 唯(2年3組)

私たちは3年生12人、2年生20人、1年生17人の49人と高橋先生、帰山先生で活動しています。北高音楽部は学校祭や部内発表会などに向けて日々練習を続けています。現在10バンドが中心に活動しており、譲り合いながらも積極的に部室をみんなで使用しています。昨年に引き続き、感染予防と共に練習していかなくてはならない辛い状況ではありましたが、部員全員から集めた部費で新しいギターアンプやドラムマットを購入し、より素敵な演奏を観客の方々に届けることが出来ました。

北高学校祭で演奏する時間を設けて頂いた事や、音楽部員が自主的に動き計画を進め実施につなげた部内発表会、放送局や有志パフォーマンス出場者の方々への協力など、今年度はたくさんの方々の経験できました。

これからはより多くの本番を部員全員が経験できるように、よりよくした部内発表会や外部の演奏会やイベントに挑戦していきたいです。今まで先輩方に活動の幅を広げて頂いた北高音楽部を廃れさせることなく進化していく為に努力を惜しまず、仲間と関わる方々全員と協力する気持ちを忘れず邁進していきます。

●書道部

今年度は1年生7名が入部し2年生5名

3年生9名の合計21名で高文連・書道パフォーマンスに向けて日々作品制作をしています。活動は本校卒業生である日暮 豊先生に、専門的なアドバイスをいただきながら技術を磨いています。

昨年は道新花火大会オープニングで書道パフォーマンスをすることができました。

また護国神社では平和を記念した書道パフォーマンスを行い、作品を奉納させていただきました。

これからも伝統を守り、書の新しい可能性にチャレンジし、より一層邁進していきたいと思えます。

【大会成績】

◇高文連上川支部書道展・研究大会

選 三年 大野 ことみ

齋藤 小波

高橋 伊織

二年 内田 一葉

工藤 侑和

川辺 瑚々南

一年 河原 菜歩

田中 利奈

◇高文連全道書道展・研究大会

支部大会にて特選に選出された生徒

全道優秀賞 三年 大野 ことみ

【活動報告】

◇書道パフォーマンス 旭川イオンモール

◇和プロジェクト 奉納揮毫

◇動物墨画パフォーマンス甲子園参加

●生徒会

私たち生徒会執行部は、今年度は3年生10人、2年生6人に加え、1年生が10人入部し、計26人で、続く新型コロナウイルスと向き合い、今の自分たちには何ができるのか、全校生徒皆で充実した生活を送るために日々活動しています。

北高の生徒会の主な仕事は、新入生歓迎会・北高祭・体育大会・クリスマスイベントなどの行事の企画・運営です。他にもた

くさんやることはありますが、一番の仕事は、北高祭を成功させることです。北高祭は最も大きな行事ですので、執行部内で9つのセクションに分かれてそれぞれが別々の仕事を担当します。このような行事の運営で私たち執行部員が大切にしていることは「連携」と「反省」です。特に大きな行事の運営となるとセクション間での連携をついひ怠ってしまいます。ですから、報告・連絡・相談をしっかりとし、大きなミスが発生する前に修正することを心がけています。また、行事が終わった後に必ず反省会を行うようにしており、様々な視点から改善点や解決策を挙げて次に繋げていきます。そうすることで、年を重ねることに問題が解決されていき、新たな試みも行いやすくなっています。

今年度の北高祭は、一昨年や昨年に比べ、制限がある中ですが3日間行うことができました。保護者の方々にも来ていただけました。たくさんの方々のおかげで、ライブ配信など新たな取り組みも行うことが出来ました。

私たち執行部はこれからも行事の企画・運営を中心に様々な活動を行っていきます。共に生活していく全校生徒や、関わってくださるすべての方々への感謝を忘れずに全力で向き合っていきます。

最後に、これからも旭川北高校生徒会執行部をよろしく願っています。

●同窓会役員名簿

役職名	氏名	卒業期
顧問	山形 積治	北8
顧問	西館 勝友	北13
顧問	八重樫和裕	北18
顧問	川島 崇則	北18
顧問	尾崎 信彦	北25
会長	山本 淳一	北28
副会長	潮 日出夫	北25
副会長	山川 国土	北31
副会長	酒井 保則	北41
副会長	近藤 博之	北43
会計監査	庄司 和晴	北18
会計監査	吉村 千鳥	北25
会計監査	富田 公裕	北25
総務部長	水口 貴浩	北39
総務副部長	田中 充	北25
総務副部長	城 裕一	北25
総務副部長	菅原 徹	北32
総務副部長	小枝 万美	北32
会計部長	園田 和宏	北33

役職名	氏名	卒業期
会計副部長	栗山 英	北39
文化部長	木村 公俊	北25
文化副部長	山中いつ子	北19
文化副部長	鈴木 弥生	北25
文化副部長	平間 明鑑	北26
文化副部長	小菅千賀子	北29
文化副部長	赤松 浩恵	北30
校内担当	本田 晴樹	北32
校内担当	安藤 光泰	北43
札幌会会長	山川 広行	北25
札幌会副会長	加門 清	北25
札幌会副会長	増田 幸夫	北28
札幌会事務局	北本 宏治	北37
会計監査	赤坂 誠司	北33
東京会・顧問	山口 哲男	北18
東京会会長	柿林 博司	北22
東京会副会長	鈴木 隆文	北25
岩手会会長	牛崎 鏖二	北6

旭川北高
同窓会役員・幹事名簿

●各期幹事長名簿【定時制課程】

卒業年度	期	氏名
昭32定卒	1	山崎 安光
昭33定卒	2	小泉 貢
昭34定卒	3	
昭35定卒	4	谷口 省一
昭36定卒	5	小林 成史
昭37定卒	6	金山 紘一
昭38定卒	7	森下 義治
昭39定卒	8	窪田 冠治
昭40定卒	9	小野寺 勤
昭41定卒	10	小林 輝雄
昭42定卒	11	千葉青次郎
昭43定卒	12	田村 篤
昭44定卒	13	神藤 茂春
昭45定卒	14	大屋 秀行
昭46定卒	15	深谷富美雄
昭47定卒	16	奥山 寿雄
昭48定卒	17	錦川 敏文
昭49定卒	18	堀井 敏明
昭50定卒	19	千村 敦雄
昭51定卒	20	
昭52定卒	21	小柳 智弘
昭53定卒	22	菅野 敏彦
昭54定卒	23	泉 誠
昭55定卒	24	柴田 仁
昭56定卒	25	川方 和人
昭57定卒	26	中原 泰司
昭58定卒	27	山中 敏行
昭59定卒	28	日塔 浩之
昭60定卒	29	太田 房枝
昭61定卒	30	入野 直美
昭62定卒	31	上林山健次
昭63定卒	32	篠原 誠
平1定卒	33	窪田 竜三

卒業年度	期	氏名
平2定卒	34	新見 稔
平3定卒	35	西尾 悟
平4定卒	36	浅井 智希
平5定卒	37	大橋 恵子
平6定卒	38	早川 立人
平7定卒	39	細田 勝巳
平8定卒	40	遠藤 智康
平9定卒	41	菅原臣一郎
平10定卒	42	岡本 香織
平11定卒	43	渡辺加代子
平12定卒	44	日野 洋一
平13定卒	45	島崎 匡世
平14定卒	46	福島 達
		多田 妙子
平15定卒	47	白田 由佳
		船田 美咲
平16定卒	48	眞田 功嗣
		白井 道恵
平17定卒	49	渡部 勇太
		阿部 裕梨
平18定卒	50	齊藤 尚也
		越山 宏恵
平19定卒	51	小松 純
		笠間まどか
平20定卒	52	大槻 法仁
		石神 明希
平21定卒	53	澤田 涼子
		釜澤 佑紀
平22定卒	54	阿部 貴大
		三浦 淑美
平23定卒	55	白河 卓也
		村岡 愛恵

卒業年度	期	氏名
平24定卒	56	船越 信幸
		大野 春花
平25定卒	57	衛藤 顕太
		辻 江梨花
平26定卒	58	佐藤 健児
		及川 紗希
平27定卒	59	川田 雄也
		千葉 智生
平28定卒	60	千葉藤吉郎
		今野 玲奈
平29定卒	61	今野 修人
		高瀬 弘里
平30定卒	62	菅原 悠介
		木元 実結
平31定卒	63	船越 裕晃
		鳴海 楓
令2定卒	64	大塚 良
		大八木梨紗
令3定卒	65	ダニス 海 プレンネン
		松崎ねおん
令4定卒	66	品田さくら
		西塚 愛美

●各期幹事長名簿【全日制課程】

卒業年度	期	役職名	氏名
昭21卒	市中1		
昭22卒	市中2	副幹事長	畠山 昇子
昭23卒	市中3	幹事長	谷口 孝
昭24卒	市中4	幹事長	間 仁一
	市高1	副幹事長	石崎 一夫
		幹事	北原 高男
昭25卒	市高2	幹事長	工藤 博視
昭26卒	1	幹事長	寺林 靖夫
昭27卒	2	幹事長	林 徹男
昭28卒	3	幹事長	小川 幹雄
		副幹事長	五十嵐 正
昭29卒	4	幹事長	干場 武司
昭30卒	5	幹事長	波岸 順子
昭31卒	6	幹事長	阿部 信行
		副幹事長	九軒 勝志
昭32卒	7	幹事長	瀬川 哲男
昭33卒	8	幹事長	黒須 昌子
昭34卒	9	幹事長	鈴木 紀明
昭35卒	10	幹事長	中村 秀雄
		副幹事長	中辻 透
昭36卒	11	幹事長	谷中 紀親
昭37卒	12	幹事長	平賀 久靖
		副幹事長	細谷美代子
昭38卒	13	幹事長	石田 邦光
昭39卒	14	幹事長	城 章一
昭40卒	15	幹事長	横山 直史
昭41卒	16	幹事長	廣田 秀美
		副幹事長	斉藤佐智枝
昭42卒	17	幹事長	加藤 修
		副幹事長	大川 孝一
		副幹事長	石田由美子
昭43卒	18	幹事長	庄司 和晴
		副幹事長	池田 定博
昭44卒	19	幹事長	植村 俊幸
		副幹事長	鳴海 範子

卒業年度	期	役職名	氏名
昭45卒	20	幹事長	林 仁彦
昭46卒	21	幹事長	石田 悟
昭47卒	22	幹事長	菊池 一孝
昭48卒	23	幹事長	青山 隆之
昭49卒	24	幹事長	小泉 英一
昭50卒	25	幹事長	山内 一頼
昭51卒	26	幹事長	煙山 泰也
昭52卒	27	幹事長	野村 寛
昭53卒	28	幹事長	持丸 昭郎
昭54卒	29	幹事長	今宮 克明
昭55卒	30	幹事長	原田 一志
昭56卒	31	幹事長	西分 健二
昭57卒	32	幹事長	澤田 俊哉
昭58卒	33	幹事長	久保 友孝
昭59卒	34	幹事長	飛弾野文彦
昭60卒	35	幹事長	児玉 賢一
昭61卒	36	幹事長	江洲 賢一
昭62卒	37	幹事長	高田 和憲
昭63卒	38	幹事長	武田 要
平1卒	39	幹事長	大柳 智裕
平2卒	40	幹事長	富樫 明樹
平3卒	41	幹事長	村田 朋輝
平4卒	42	幹事長	細山 崇
平5卒	43	幹事長	佐藤 誉博
平6卒	44	幹事長	今村 速人
平7卒	45	幹事長	青葉 拓哉
平8卒	46	幹事長	上北 泰志
平9卒	47	幹事長	長町 康隆
平10卒	48	幹事長	松井 智弘
平11卒	49	幹事長	池田 譲治
平12卒	50	幹事長	阿部 好幸
平13卒	51	幹事長	宇井 辰徳
平14卒	52	幹事長	大友 健司
平15卒	53	幹事長	野田 仁哉
平16卒	54	幹事長	楠美 拓也

卒業年度	期	役職名	氏名
平17卒	55	幹事長	北川 智貴
平18卒	56	幹事長	和賀 裕則
平19卒	57	幹事長	福森 翔太
平20卒	58	幹事長	川西 雄太
平21卒	59	幹事長	泉澤 知宏
平22卒	60	幹事長	和賀 俊太
平23卒	61	幹事長	島田 沙理
		副幹事長	佐藤 公耶
平24卒	62	幹事長	丸尾 秀樹
		副幹事長	平岡はるな
平25卒	63	幹事長	東崎 千晶
		副幹事長	吉澤 圭祐
平26卒	64	幹事長	渡辺 悠介
		副幹事長	金子ちひろ
平27卒	65	幹事長	古屋 龍
		副幹事長	下原みのり
平28卒	66	幹事長	吉野竜太郎
		副幹事長	田口 春香
平29卒	67	幹事長	白崎 優太
		副幹事長	三井 沙耶
平30卒	68	幹事長	倉橋 高矢
		副幹事長	井上 遥葉
平31卒	69	幹事長	中谷 紫温
		副幹事長	水野 花菜
令2卒	70	幹事長	櫻井 健太
		副幹事長	中川 弥乃
令3卒	71	幹事長	五十嵐駿征
		副幹事長	川崎帆乃花
令4卒	72	幹事長	矢澤 未侑
		副幹事長	片山 壮大

幹事の皆様大変ご苦勞様です

◎各期幹事に異動がありましたら、同窓会事務局までご連絡ください。

【自宅】 〒071-0528 空知郡上富良野町東8線北18号1番地22 水口 貴浩
 携帯電話090-6266-9576

【勤務先】 東中郵便局 TEL0167-45-2902

当番期



第56回 同窓会実行委員長
青葉 拓哉
(北高45期)

かなり面倒なことになったなあ。わけあって自宅に隔離されていた間、先輩達が残してくれたデータを見た時の素直な感想である。役員および前期との初顔合わせ会、データとともに、「何かできることを考えてほしい」との宿題をいただいた。面食らったのが正直なところである。なにせ、例年の

内容と日程もわからないのに、3週間後に新しい提案を出さなければならぬ。参加したのは自分一人、同期は「わけあって」出席できなかった。仲間と早く共有したいという思いが募った。まずはデータを確認することに決め、過去のメッセージを開いた。先輩達は、10月にスタートしろと書いている。今はもう5月じゃないか。コロナも収束していない、元気が自分も隔離されている。4月から職場が変わり、慣れない業務にも追われていた。さて、どうする。そこからの経過は省略するが、実行委員長として悶々とする日々

の中、1つ心に決めたのは、同窓会と後輩のためにも、流れを通常に戻すこと。幸い、自分達の作業と並行して、次にバトンを渡せたのではないか。これを書いている現在も、道半ばである。今夜も同期と会う。こんな年もあったという備忘録になればよい。最後に、ふと目に留まった新聞の1節を、不甲斐ない自分と次期当番期へのエールに代えて紹介します。

「面倒くさいっていう自分の気持ちとの戦いなんだよ。世の中の大事なことってたいてい面倒くさいんだよ。」(スタジオジブリ 宮崎駿) そう、当番期は面倒くさくて大事なのだ。先輩達も「最後は引き受けて良かった」と書いている。自分もそう言える気がする。皆様、80周年記念の常設看板、そして記念誌へのご協力、本当にありがとうございます。励ましに助けられました。

次期幹事への支援もお願いして、筆をおかせていただきます。次こそ、お会いしましょう！それまで、どうぞお元気で。

次期当番期



第57回 同窓会実行委員長
上北 泰志
(北高46期)

早いもので北高を卒業して二十六年が過ぎました。小さい頃から比較的自宅に近く北高に進学することを何となく憧れていたものの、いざ高校受験を控えた頃には別な夢を追い求めて、一度は実家を離れ道外へ飛び出しましたが、体を壊したことが

もあり約半年で実家に戻り、再び北高への入学を目指し翌年に何とか入学することができました。一年遅れの私にとっては、後輩と同級生として高校生活を送ることに不安を感じながらも、周りの方々の支えがあつて三年間過ごせたことと今では感謝しております。卒業後間もなく近隣の町役場に就職が決まっていた私は、知らぬ間に幹事長という大役を任されることとなり、噂に聞いていた同窓会の当番期をいよいよ迎えることとなりました。先日出席させていただいた同窓会役員会では、これ

までの経緯や今後の進め方等についてご指導いただき、改めて責任の重大さを実感したところです。伝統ある北高同窓会は、なかなか収束を見せない新型コロナウイルス感染症の影響により三年間中止を余儀なくされておりますが、来年こそは四年ぶりの開催に向け、私たち46期で準備を進めさせていただきます。コロナ禍によりこれまでどおりの開催は難しいとは思いますが、素晴らしい再会の場となり次年度以降にもまた繋がるよう、当番期の仲間たちの結束を固め、社会人として培ってきた各々

の力を持ち寄り、一丸となって同窓会の成功に向けて精一杯努力して参りたいと思います。結びになります。来年の開催に向けまして皆様方のご支援、ご協力をお願いするとともに、同窓会並びに母校の更なる発展、同窓生、在校生の益々のご多幸を祈念いたしまして、次期当番期を代表しての挨拶とさせていただきます。

旭川北高同窓会 公式ウェブサイト

<https://www.kitako-dousou.com/>

旭川北高等学校同窓会
ASAHIKAWA KITA HIGH SCHOOL REUNION

ホーム

TO YOU / EVENT / ACTIVITY / REUNION / OFFICE / REPORT

旭川北高等学校

2022年 第56回 総会懇親会 中止のお知らせ

> facebook

卒業生の方へ
TO YOU

総会のご案内
EVENT

総会の様子
ACTIVITY

同窓会
REUNION

事務局
OFFICE

会報
REPORT

コミュニティ
COMMUNITY

同窓会のリンク
LINK

懐かしのフォトギャラリー
PHOTO GALLERY

校歌

明るく普通の速さで

1.あ た ー ら し ー き ぶ ん か り ー の は な の さ
 3.か ぐ ー わ し ー き み ど り ー の ゆ う べ は

ん ー ら ん と の や が て か お ら む み
 く ー よ う の き ぼ な さ く あ さ み ま

ず ー き ー よ ー く や た ま ー む ら さ き ら に め
 ゆ ー ひ ー い ー で や た ま ー す む さ こ ら が ま

ぐ ー り ー た ー る ま な び の に わ よ あ
 ど ー い ー し ー て ほ ま べ れ を う た う み

ふ る る よ ろ こ こ び い ざ て を と り て や
 よ み よ そ こ く の ゆ く て は あ ら た や

む な き ー あ ゆ み に ま こ と り を と め む
 む な き ー の ぞ み に ひ か と り を そ え む

校歌

木村五一 作詞
 津田 甫 作曲

一、

新しき文化の華の
 燦爛とやがて薫らむ
 水清く山紫に
 めぐりたる学びの庭よ
 溢れる歡喜いざ手を把りて
 止むなき向上に真理を尋めむ

二、

逞しき腕の力は
 遠つ代の祖に承けたり
 汗あゆるその勤勞の
 成せる郷土豊けき穰
 とこしへ榮行くこの世に生きて
 止むなき教養清純を讃めむ

三、

かぐはしき緑の夕
 白瑤の樹氷咲く朝
 眉秀で魂澄む子等が
 まどみして譽を謳ふ
 見よ見よ祖国の前途は新
 止むなき希望に光明を添へむ



旭川北高同窓会だより 第45号
令和5年1月23日発行

発行所 旭川北高等学校同窓会(旭川市花咲町3)
発行人 同窓会会長 山本淳一
編集 旭川北高等学校同窓会文化部
旭川北高等学校同窓会第56回総会実行委員会
印刷 東洋株式会社
旭川市末広東1条4丁目8-35大道警備保障(株)ビル2F
TEL0166-85-7350

旭川北高等学校同窓会
<https://www.kitako-dousou.com/>

